

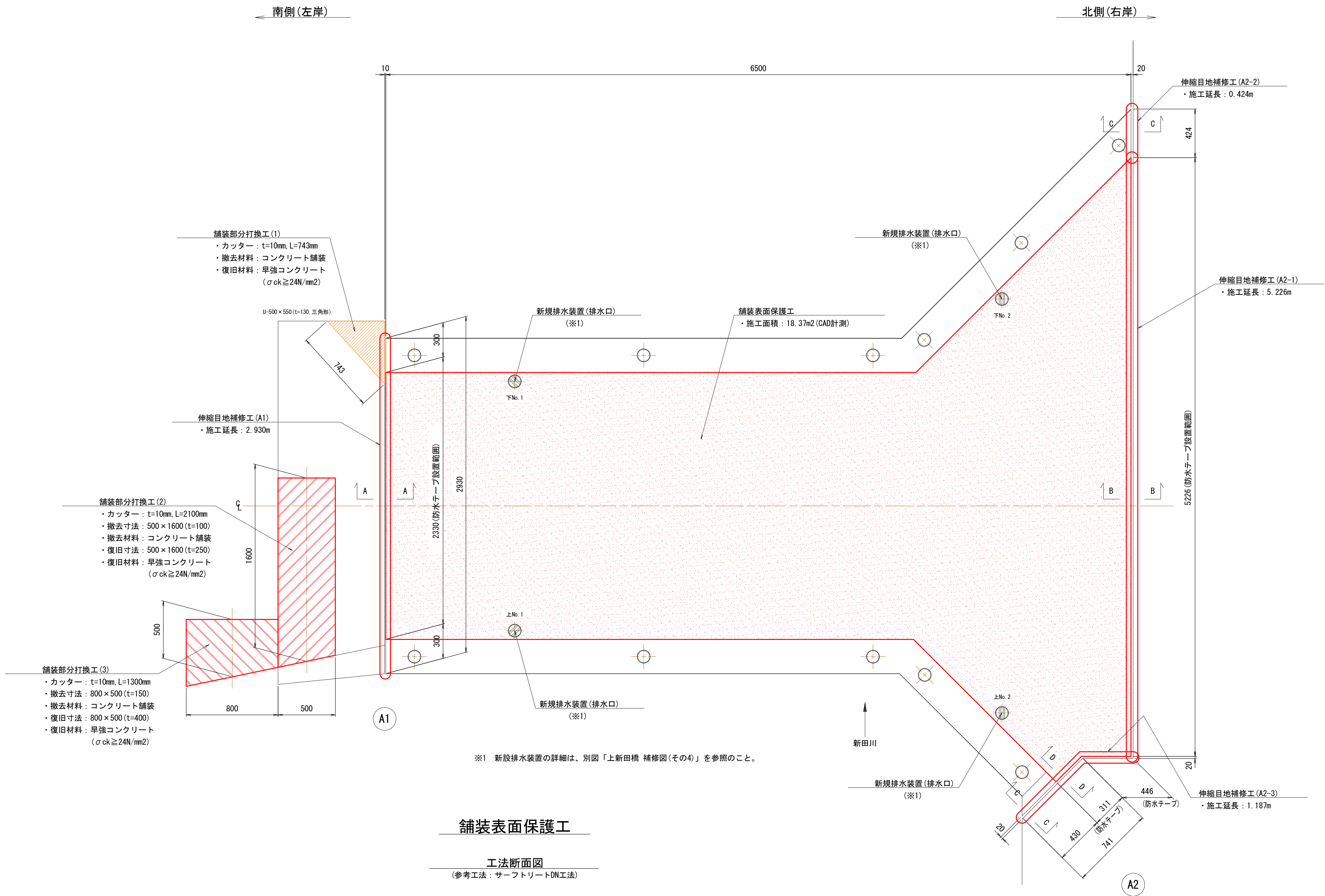
# 上新田橋 補修図(その1)

## 伸縮目地補修工および舗装保護工

橋 面 S=1:20

( 伸縮目地, 舗装 )

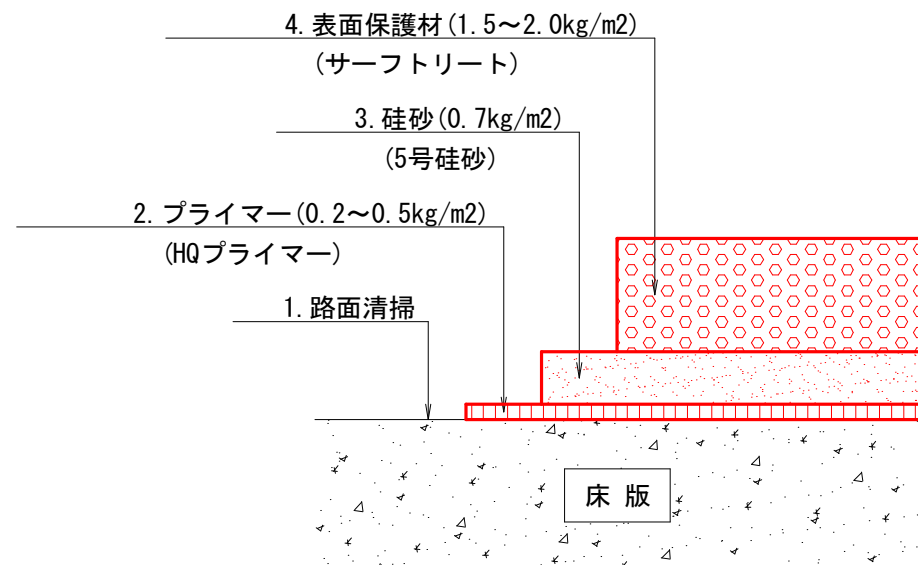
### 平 面 図



### 舗装表面保護工

#### 工法断面図

(参考工法：サーフトリートDN工法)

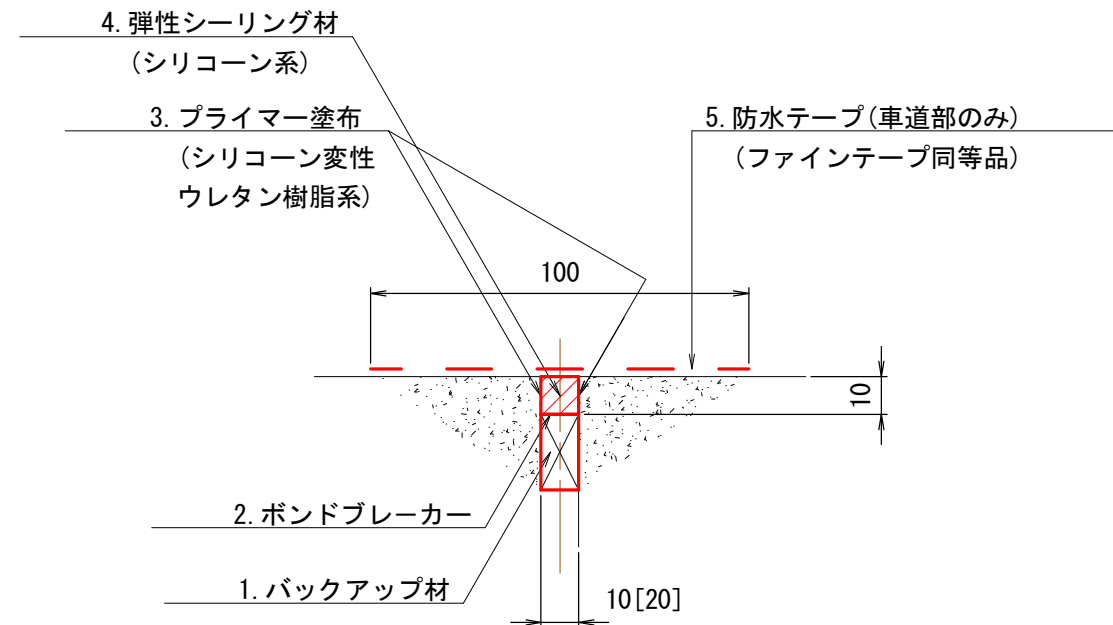


- ※ 1. 本仕様は「本橋部コンクリート舗装」の補修仕様として適用する。  
2. 本仕様は参考である。実施の際は本仕様同等品を採用すること。  
3. 舗装表面保護工は「排水装置取替工」および「伸縮目地補修工」完了後に実施すること。

### 伸縮目地補修工

#### 工法断面図(A1) [(A2-1)]

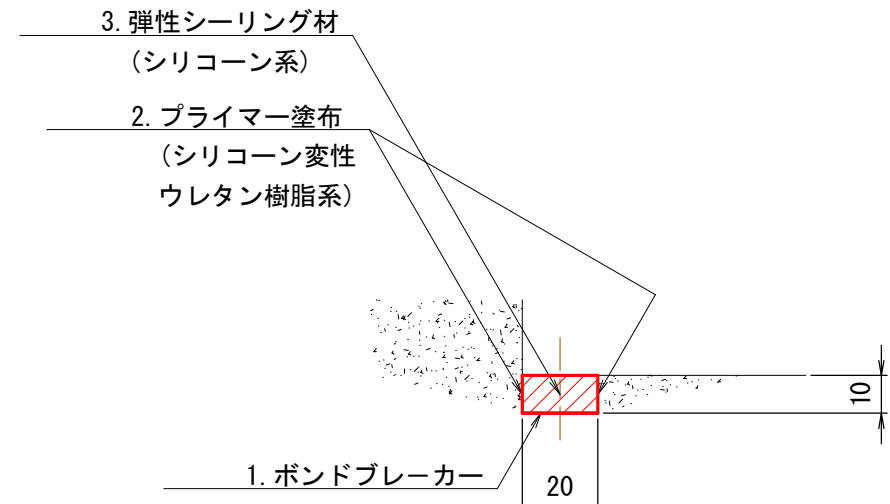
( A - A ) [ ( B - B ) ]



- ※ 1. 上図中 [ ] 内数値は、伸縮目地(A2-1)における寸法等を示す。  
2. 本仕様は「伸縮目地(A1) [(A2-1)]」の補修仕様として適用する。  
3. 防水テープ設置前、設置面を十分に清掃すること。  
4. 本仕様は参考である。実施の際は本仕様同等品を採用すること。

#### 工法断面図(A2-2, A2-3地覆部)

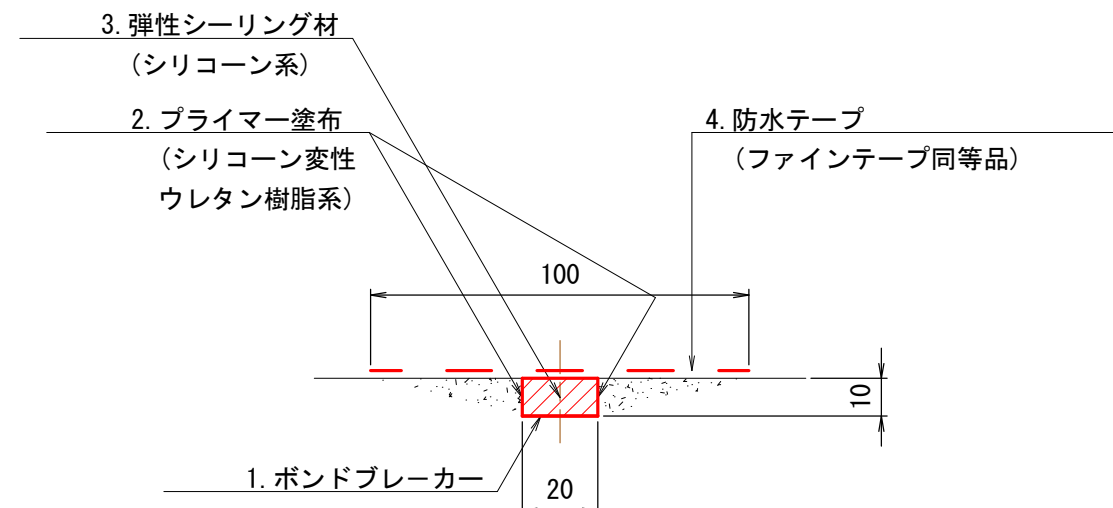
( C - C )



- ※ 1. 本仕様は「伸縮目地(A2-2, A2-3地覆部)」の補修仕様として適用する。  
2. 弾性シーリング材の充填代がない場合は、カッター等にて成形すること。  
3. 本仕様は参考である。実施の際は本仕様同等品を採用すること。

#### 工法断面図(A2-3車道部)

( D - D )



- ※ 1. 本仕様は「伸縮目地(A2-3車道部)」の補修仕様として適用する。  
2. 弾性シーリング材の充填代がない場合は、カッター等にて成形すること。  
3. 防水テープ設置前、設置面を十分に清掃すること。  
4. 本仕様は参考である。実施の際は本仕様同等品を採用すること。

路 線 名 : 市道南無谷38号線  
委託箇所 : 南房総市富浦町南無谷地先  
事業年度 :

|       |                            |      |        |
|-------|----------------------------|------|--------|
| 工事名   | 橋梁修繕設計業務委託(その2) (道路メンテナンス) |      |        |
| 図面名   | 上新田橋 補修図(その1)              |      |        |
| 作成年月日 | 令和 5年 1月                   |      |        |
| 縮尺    | 図 示                        | 図面番号 | 4 / 12 |
| 会社名   | 和合建設コンサルタント株式会社            |      |        |
| 事業者名  | 南 房 総 市                    |      |        |

注記) 1. 施工前、現地詳細調査を実施し、  
施工寸法および数量を確定すること。







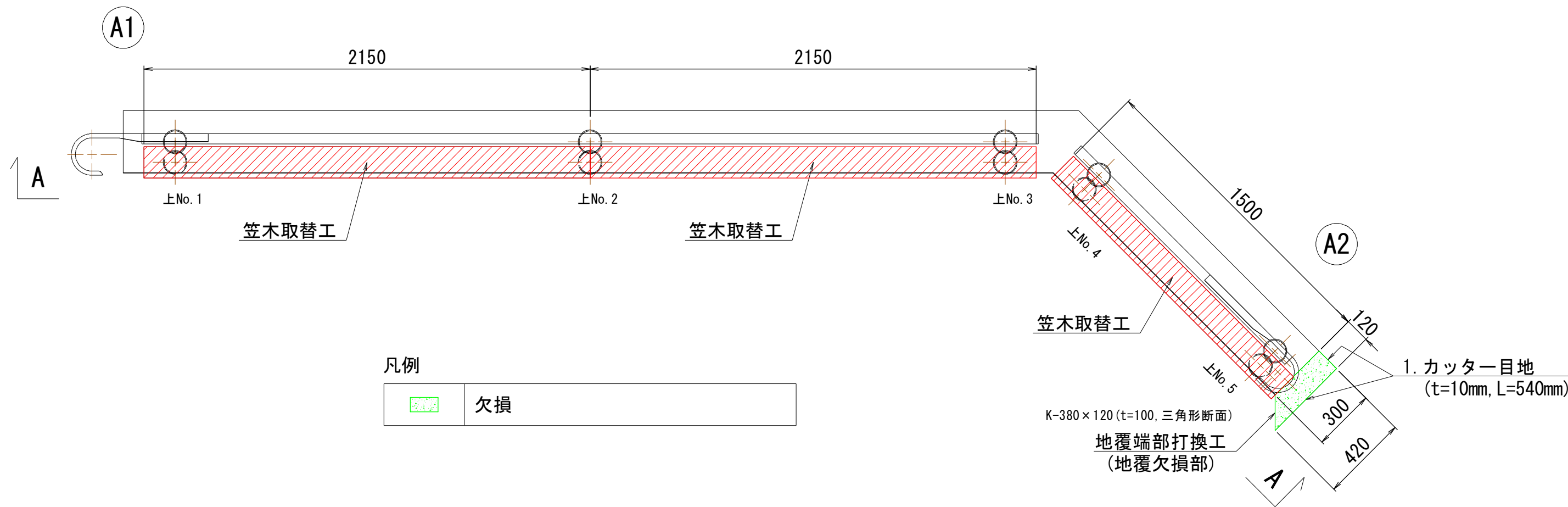
# 上新田橋 補修図(その3)

上流側  
防護柵補修工(笠木取替)・地覆外面PL補修工・地覆塗替工

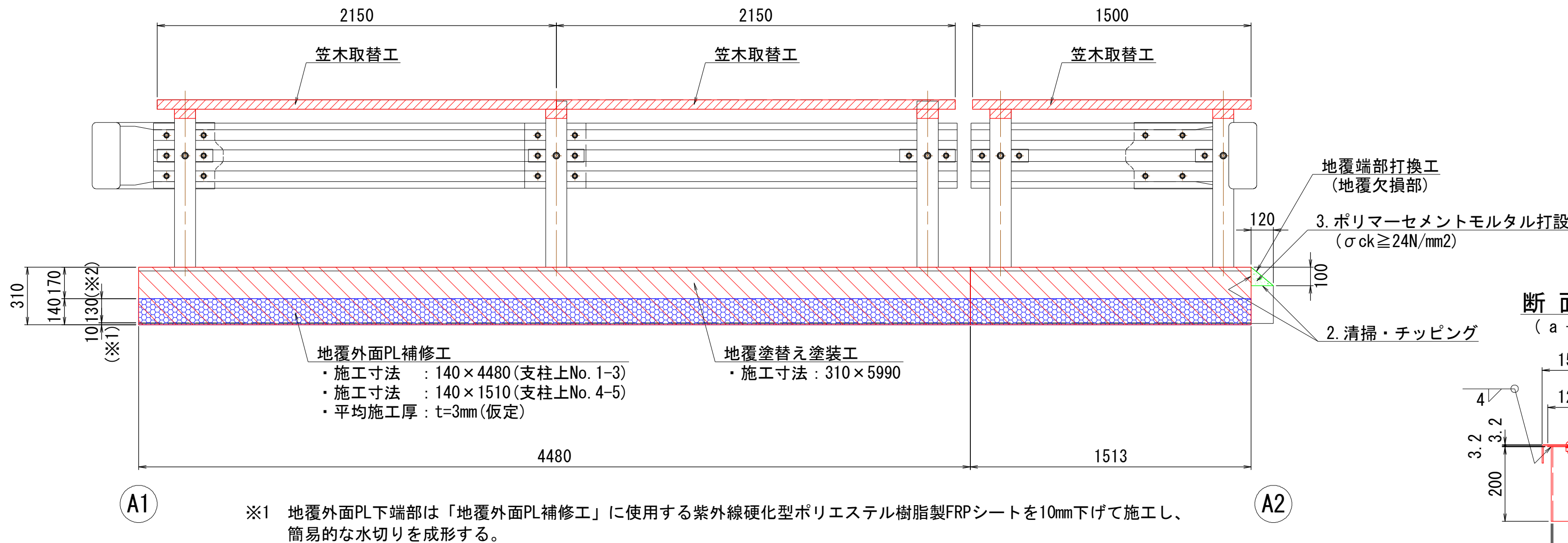
笠木取替工 S=1:10

橋 面 S=1:20  
( 地覆, 防護柵 : 上流側 )

平 面 図



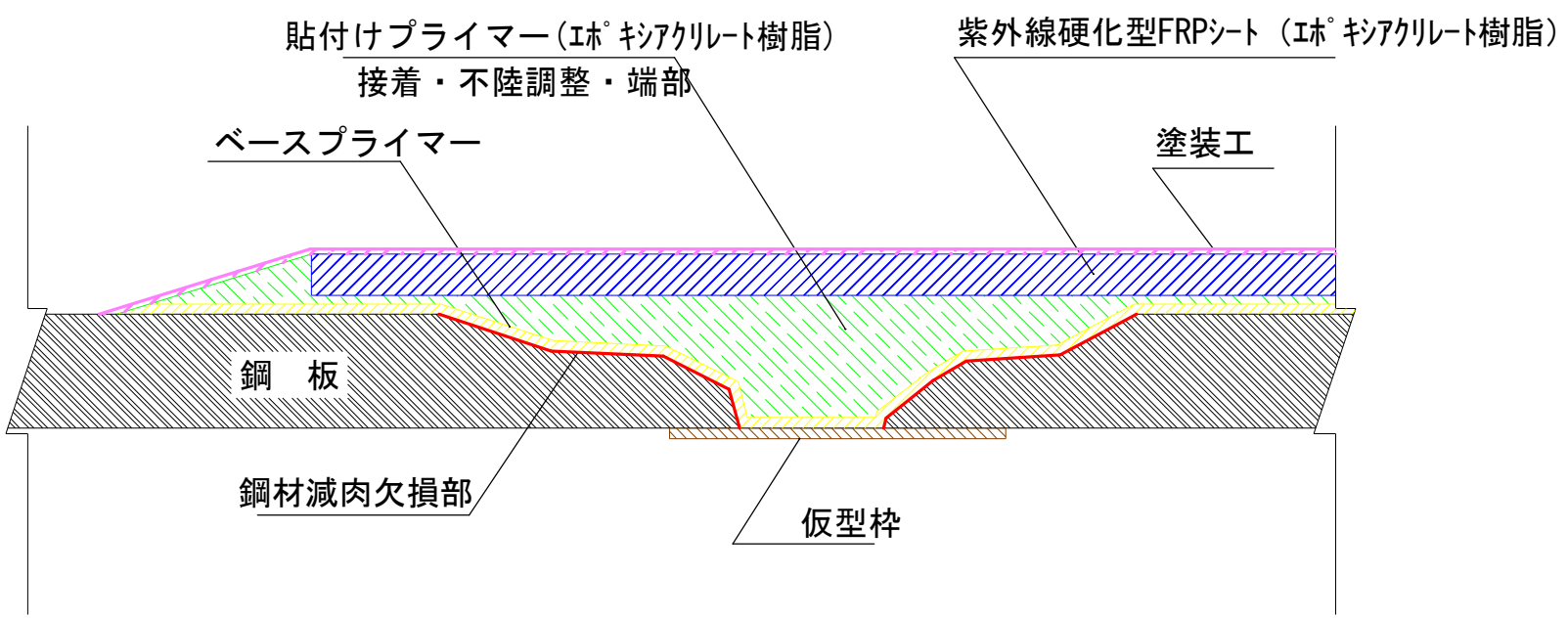
外側側面展開図  
( A - A )



※1 地覆外面PL下端部は「地覆外面PL補修工」に使用する紫外線硬化型ポリエステル樹脂製FRPシートを10mm下げて施工し、簡易的な水切りを成形する。

## 地覆外面PL補修工

工法平面断面図



施工手順

- (1) ケレン (2種以上)
- (2) ベースプライマー塗布、貼付けプライマー (2液性) 塗布
- (3) シート貼付  
※不陸調整・脱泡・端部処理：同時施工
- (4) 紫外線照射 (太陽光含む)
- (5) 塗装 (橋梁全体時)

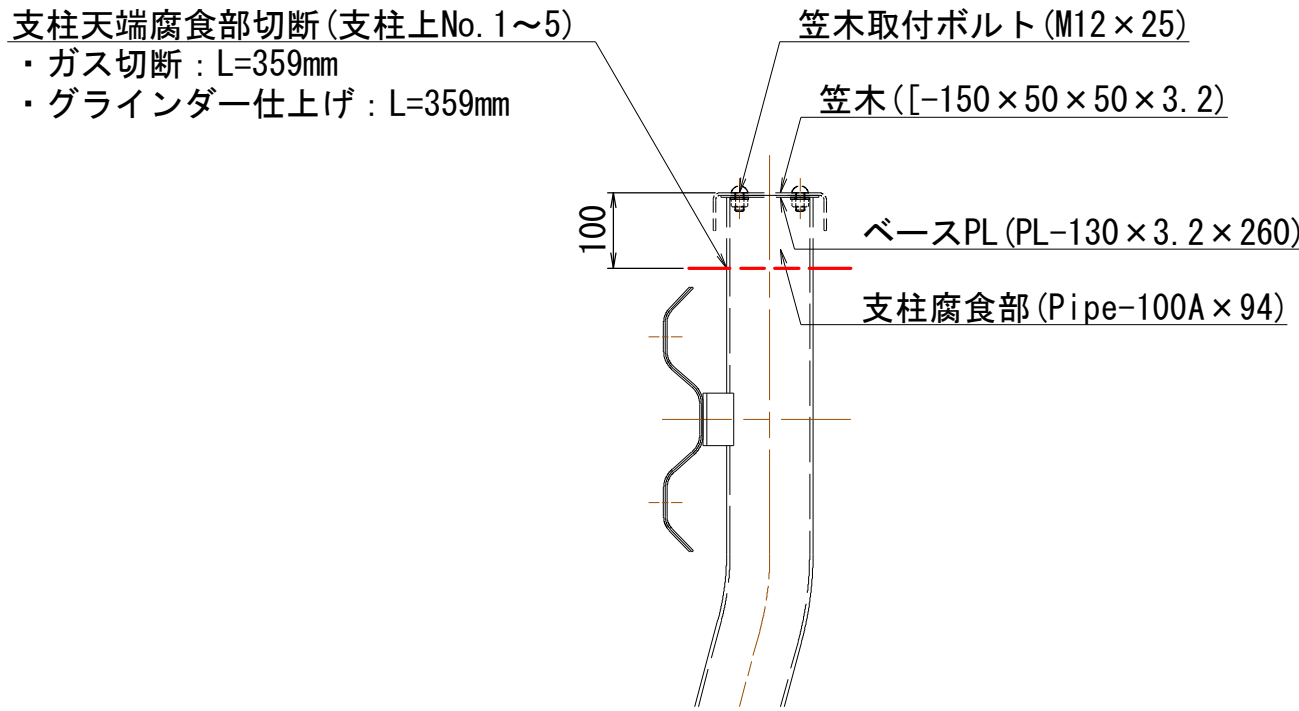
## 地覆塗替え塗装工

地覆外面：塗替え塗装仕様(Rc-Ⅲ塗装系)

| 塗装工程 | 塗料名                           | 使用量<br>(g/m <sup>2</sup> ) | 塗装間隔   |
|------|-------------------------------|----------------------------|--------|
| 素地調整 | 3種                            |                            | 4時間以内  |
| 下塗   | 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗<br>(鋼板露出部のみ) | (200)                      | 1日～10日 |
| 下塗   | 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗              | 200                        | 1日～10日 |
| 下塗   | 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗              | 200                        | 1日～10日 |
| 中塗   | 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗                | 140                        | 1日～10日 |
| 上塗   | 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗                 | 120                        | 1日～10日 |

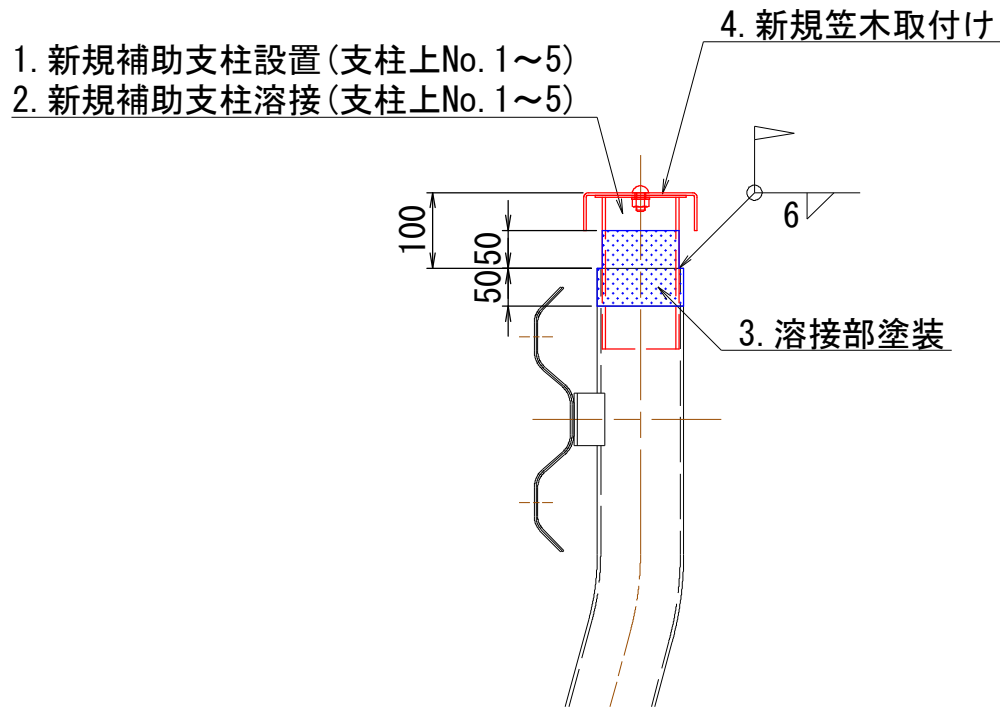
- ※
1. 本仕様は「地覆外面」の塗替え塗装仕様として適用する。
  2. 素地調整程度は「3種C」相当とする。
  3. 地覆塗替え塗装工は「地覆外面PL補修工」完了後に実施すること。

防護柵笠木・支柱腐食部撤去図



＜防護柵笠木・支柱腐食部撤去数量：防護柵上流側当たり＞  
2-笠木 [ 150×50×50×3.2×2150  
1-笠木 [ 150×50×50×3.2×1500  
5-Base PL 130×3.2×260  
5-Pipe 100A×94 (SGP)  
20-丸頭Bolt M12×25  
20-Nut1 M12用(1種)  
20-P. Washer M12用

新規防護柵笠木・補助支柱設置図



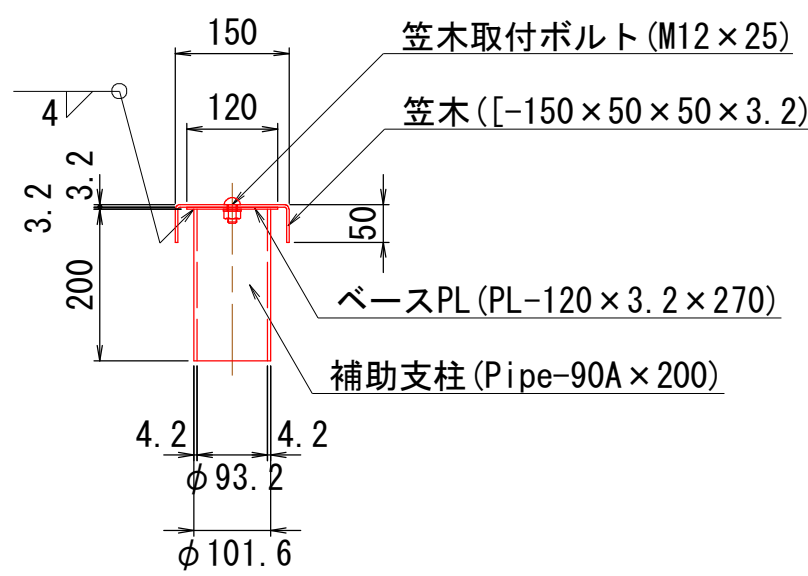
溶接部塗装仕様(参考)  
常温亜鉛めっき(はけ塗装)

| 塗装工程 | 塗料名           | 使用量<br>(g/m <sup>2</sup> ) | 目標膜厚<br>(μm) | 塗装間隔<br>(20℃時) |
|------|---------------|----------------------------|--------------|----------------|
| 素地調整 | 2種(手工具・動力工具処理 | ISO St3)                   |              | 4時間以内          |
| 第1層  | 常温亜鉛めっき(ローパル) | 300                        | 40           | 30分以上          |
| 第2層  | 常温亜鉛めっき(ローパル) | 300                        | 40           |                |

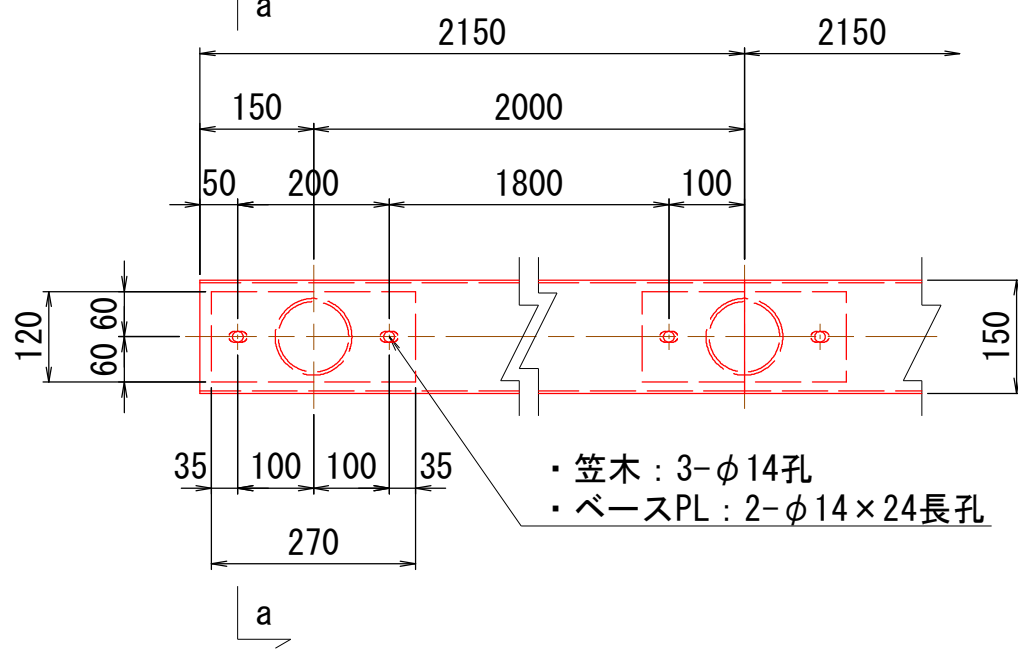
- ※
1. 本仕様は「防護柵支柱溶接部」の塗装仕様として適用する。
  2. 使用量は、はけ塗装による実塗布量を示し、20%のロス分を含む。
  3. 目標膜厚は塗膜硬化乾燥時のものである。
  4. 塗装間隔は目安である。環境や施工条件により変化する。
  5. 本仕様は参考である。実施の際は本仕様同等品を採用すること。

## 新規防護柵笠木・補助支柱詳細 S=1:10

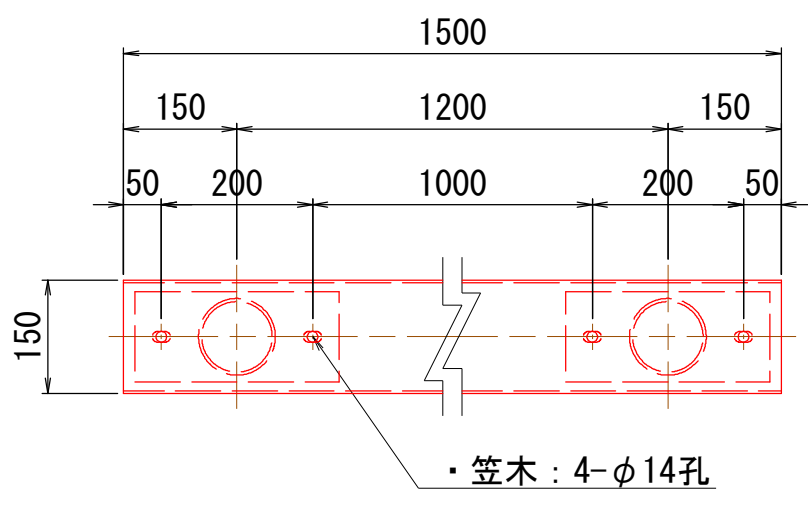
断 面 図  
( a - a )



平 面 図  
( 支柱No. 1-3間 )



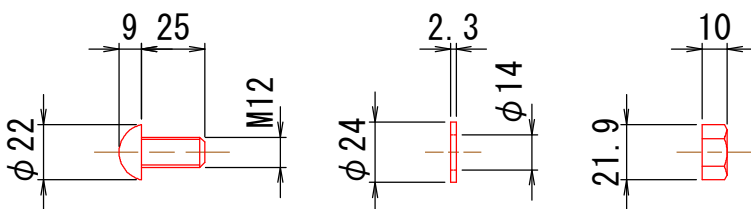
平 面 図  
( 支柱No. 4-5間 )



＜新規防護柵笠木・補助支柱：防護柵上流側当たり＞  
2-笠木 [ 150×50×50×3.2×2150 (SSC400)  
1-笠木 [ 150×50×50×3.2×1500 (SSC400)  
5-Base PL 120×3.2×270 (SS400)  
5-Pipe 90A×200 (SGP)

- ※ 新規防護柵笠木・補助支柱は塗装仕様とし、以下のとおりとする。
- ・下地処理：JIS G 3302 Z27 同等以上の亜鉛めっき処理
  - ・塗装：熱硬化性アクリル樹脂系塗料または熱硬化性ポリエステル樹脂系塗料同等以上の塗料を使用し、塗膜厚20μm以上とする。

## 笠木取付ボルト詳細 S=1:3



＜笠木取付ボルト：防護柵上流側当たり＞  
10-丸頭Bolt M12×25 (強度区分4.6)  
10-Nut1 M12用(1種) (強度区分4.6)  
10-P. Washer M12用 (強度区分4.6)

- ※ 笠木取付ボルトは溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は以下のとおりとする。
- ・JIS H 8641 2種 HDZ35

注記) 1. 施工前、現地詳細調査を実施し、  
施工寸法および数量を確定すること。

路 線 名：市道南無谷38号線  
委託箇所：南房総市富浦町南無谷地先  
事業年度：

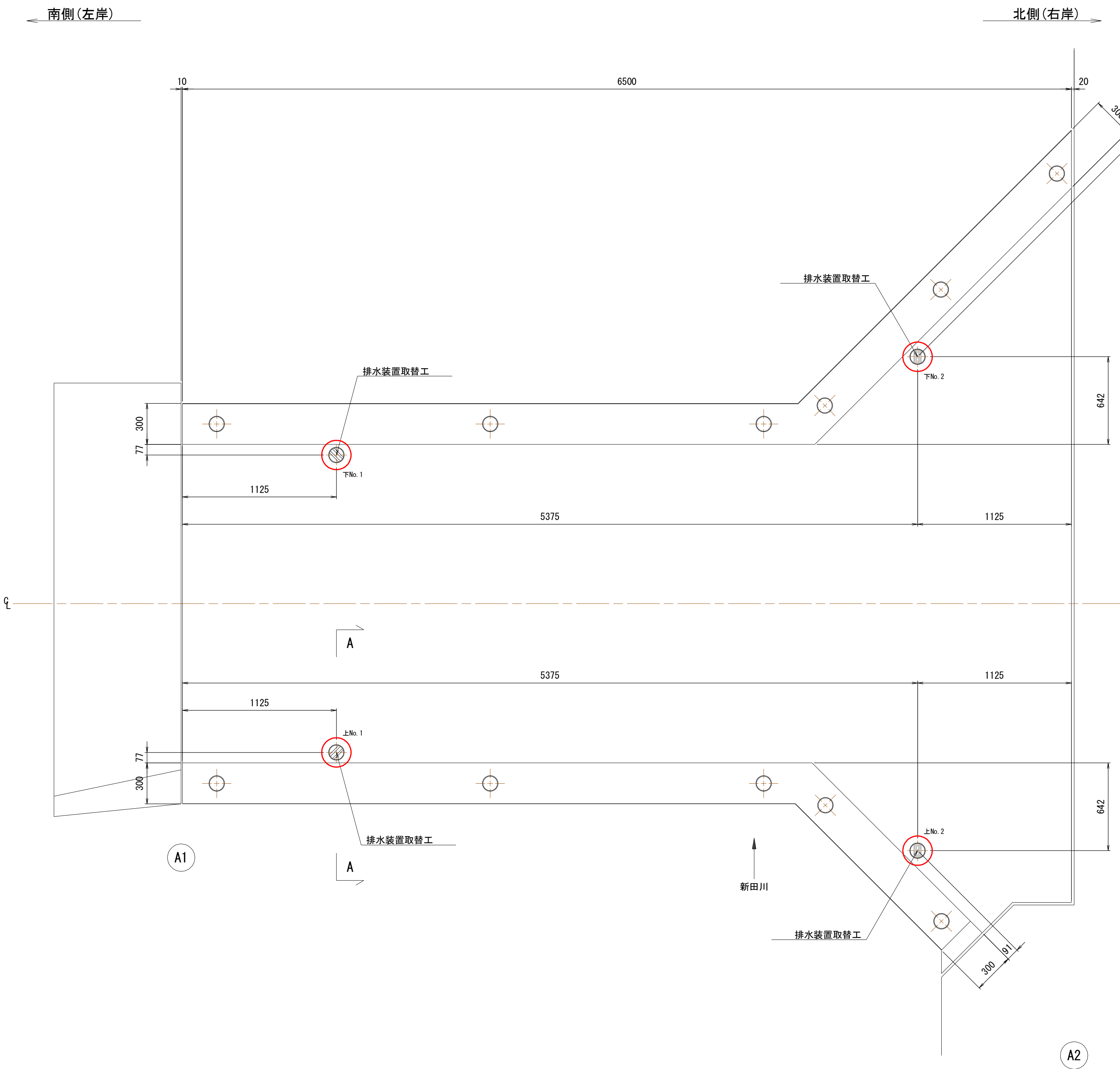
|      |                           |
|------|---------------------------|
| 工事名  | 橋梁修繕設計業務委託(その2)(道路メンテナンス) |
| 図面名  | 上新田橋 補修図(その3)             |
| 作成年月 | 令和 5年 1月                  |
| 縮尺   | 図 示 図面番号 6 / 12           |
| 会社名  | 和合建設コンサルタント株式会社           |
| 事業者名 | 南 房 総 市                   |

上新田橋 補修図(その4)

排水補修工

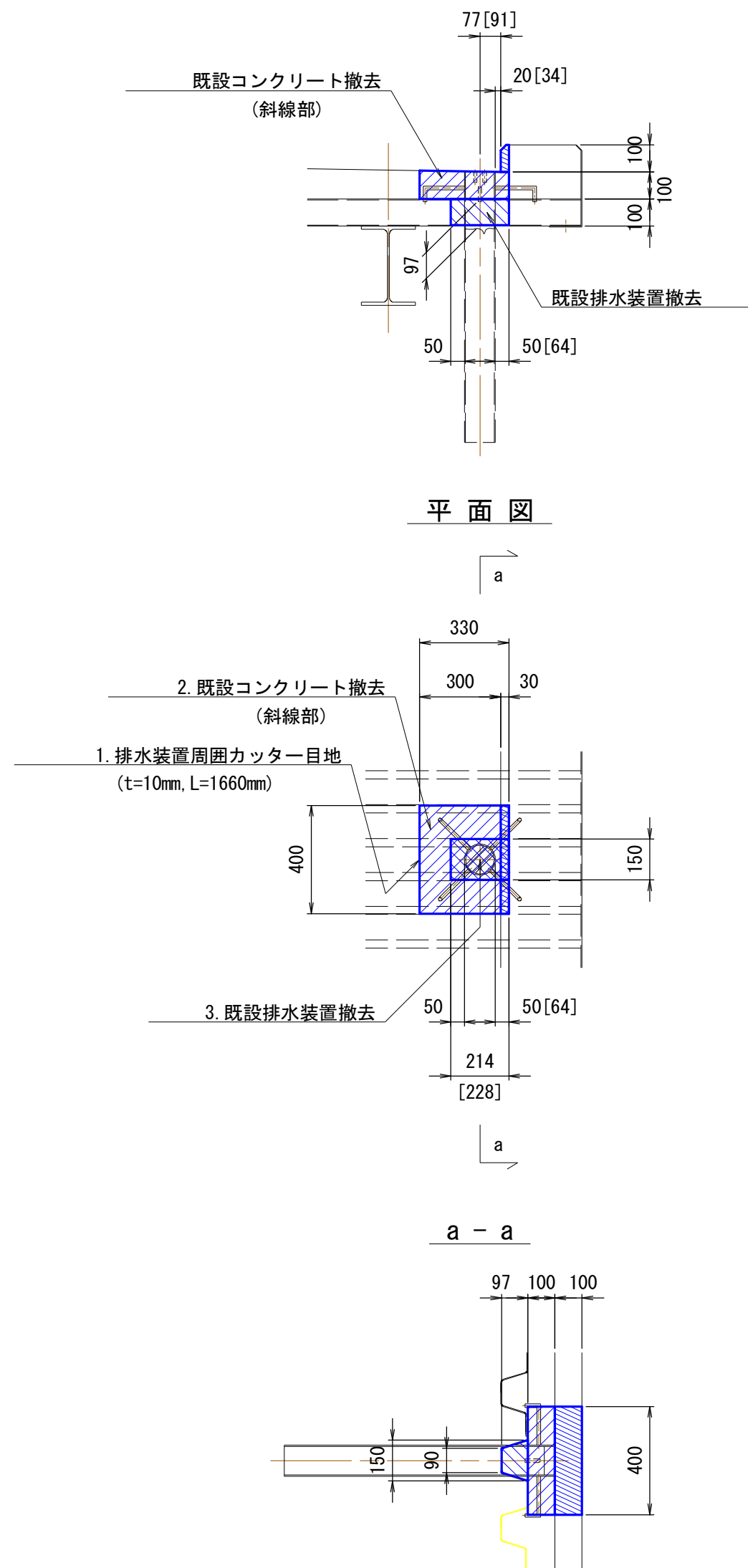
橋面 S=1:20  
(排水装置)

平面図



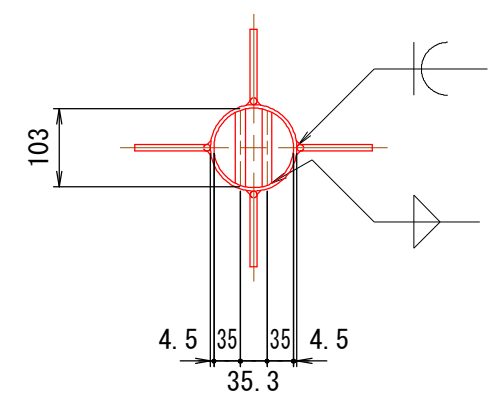
既設排水装置撤去図 S=1:20  
(A-A)

平面図

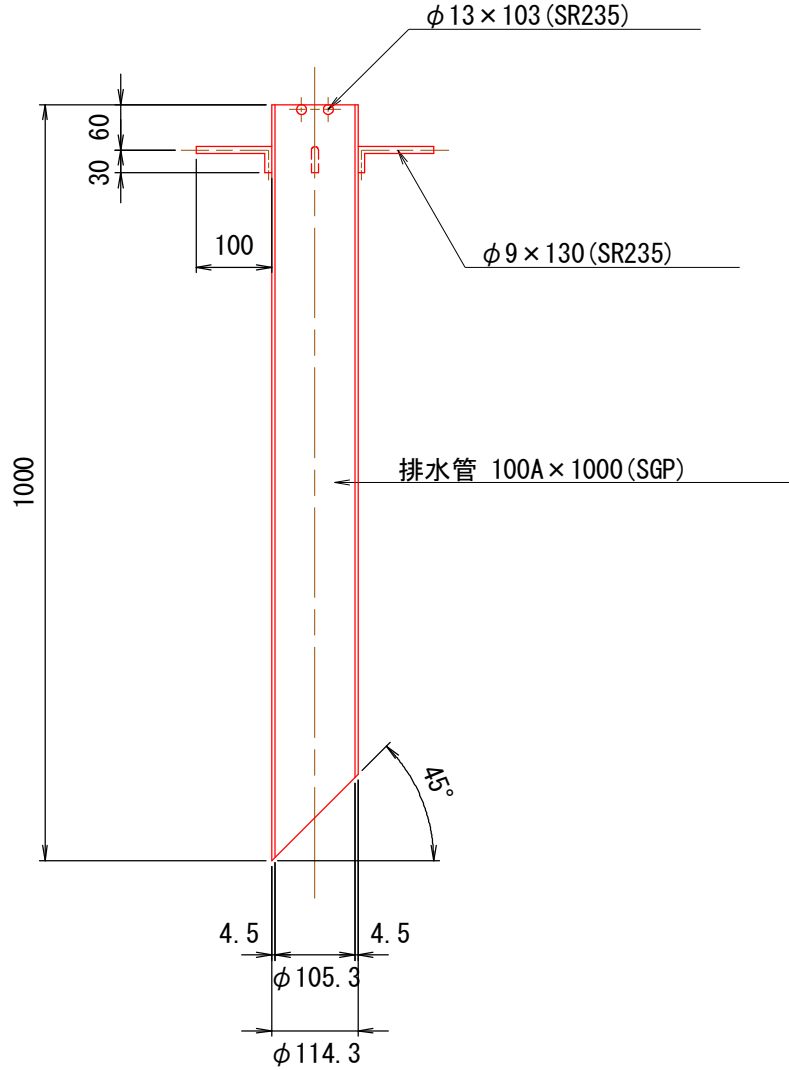


新規排水装置詳細 S=1:10

平面図

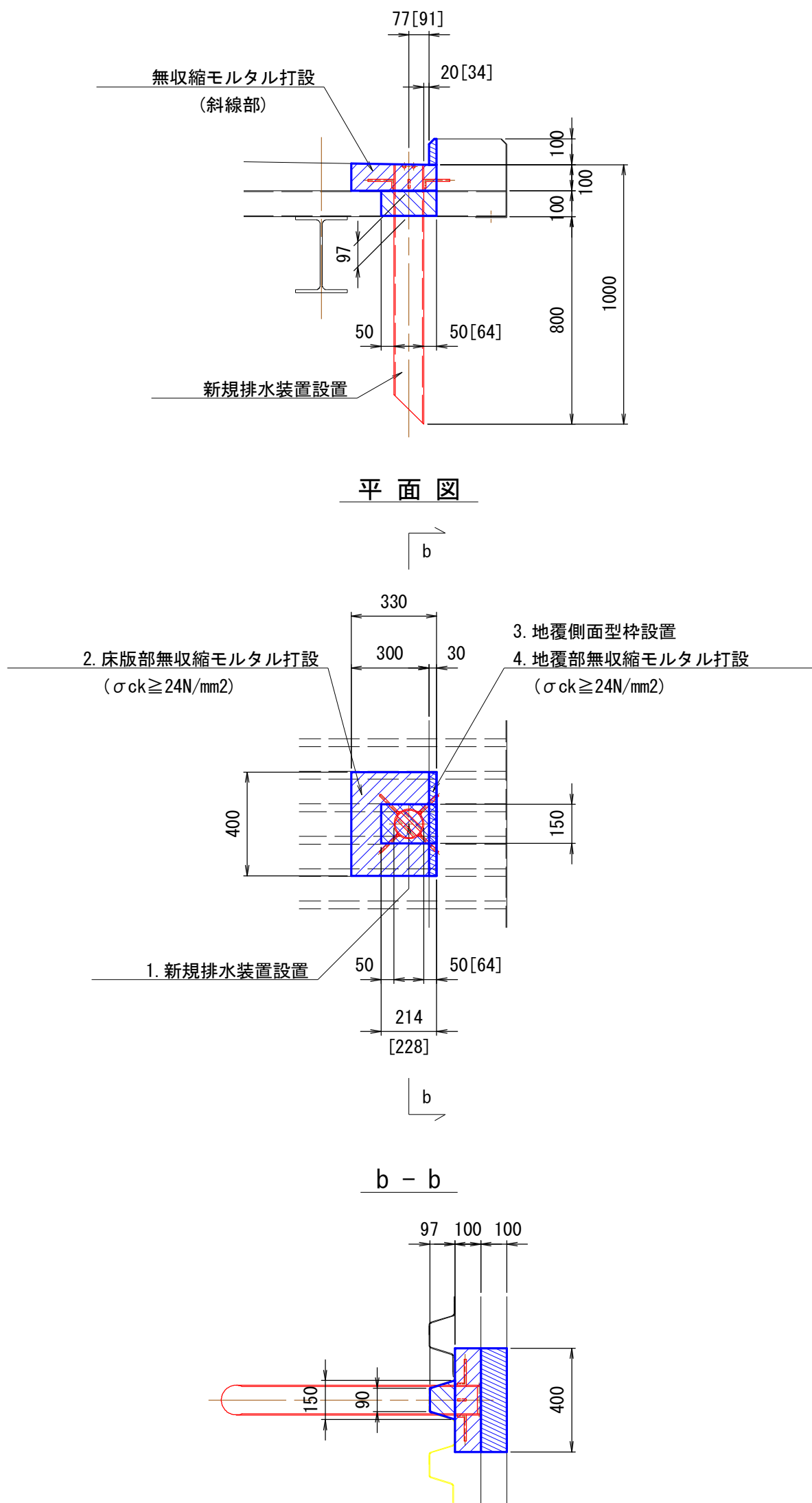


側面図



新規排水装置設置図 S=1:20  
(A-A)

平面図



注記) 1. 施工前、現地詳細調査を実施し、  
施工寸法および数量を確定すること。

路線名: 市道南無谷38号線  
委託箇所: 南房総市富浦町南無谷地先  
事業年度:

|       |                           |      |        |
|-------|---------------------------|------|--------|
| 工事名   | 橋梁修繕設計業務委託(その2)(道路メンテナンス) |      |        |
| 図面名   | 上新田橋 補修図(その4)             |      |        |
| 作成年月日 | 令和 5年 1月                  |      |        |
| 縮尺    | 図 示                       | 図面番号 | 7 / 12 |
| 会社名   | 和合建設コンサルタント株式会社           |      |        |
| 事業者名  | 南 房 総 市                   |      |        |



上新田橋 補修図(その5)

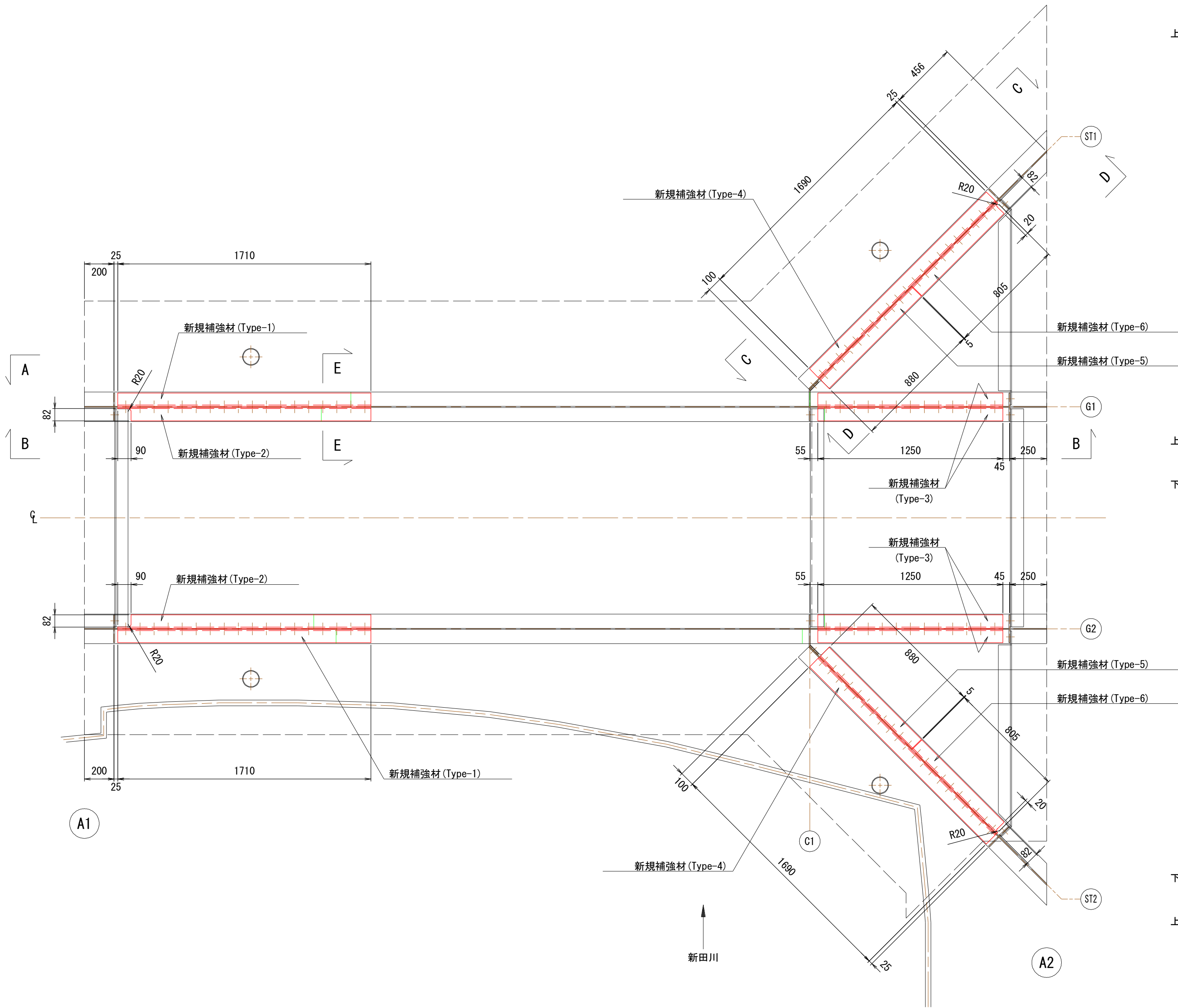
主桁・縦桁補修工

橋下面 S=1:20  
(主桁・縦桁)

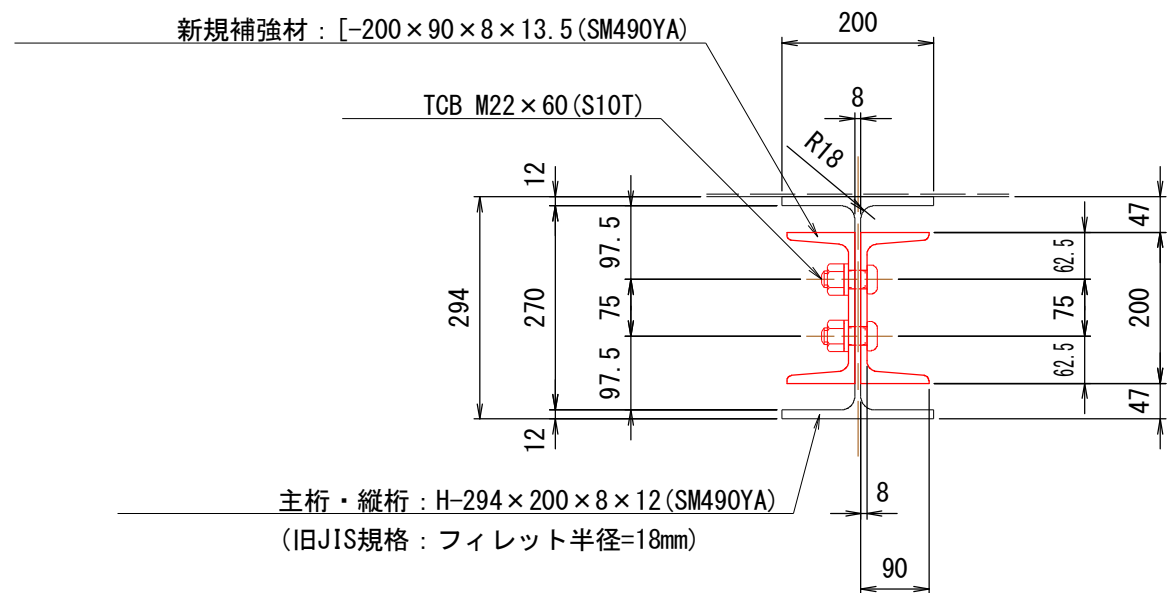
平面図

南側(左岸)

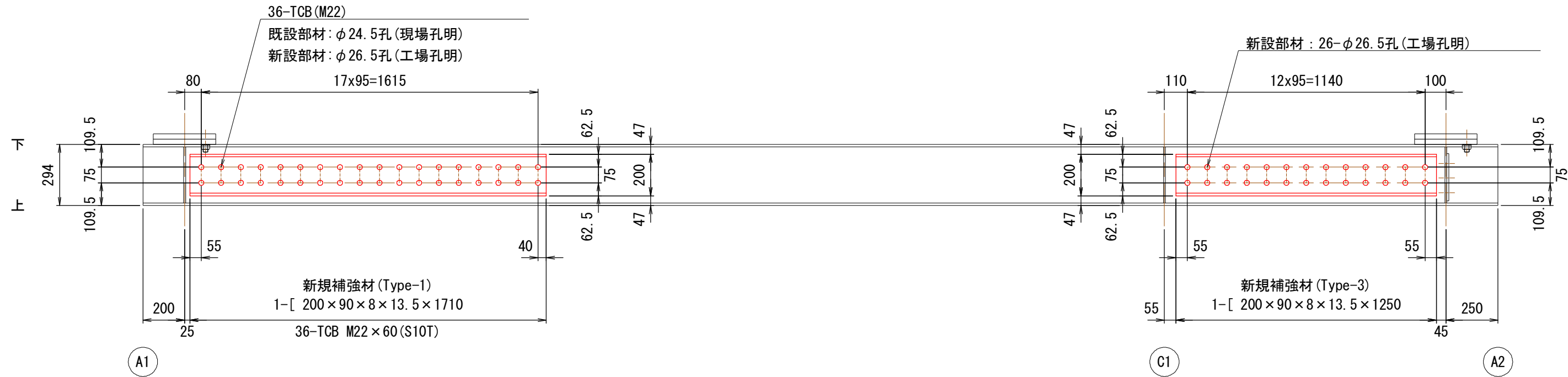
北側(右岸)



主桁・縦桁補修工断面詳細 S=1:10  
(E-E)

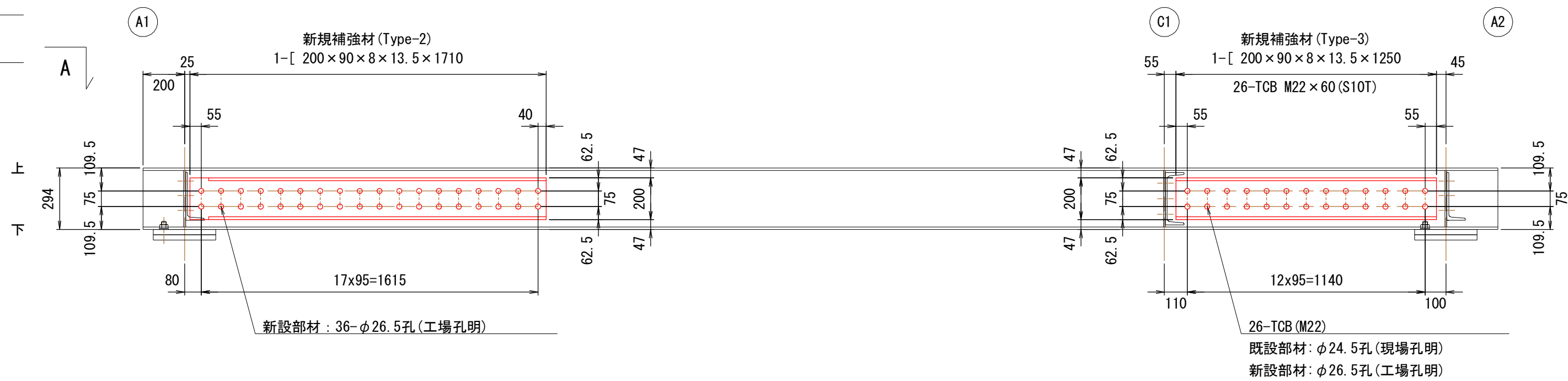


G1下流側側面図 S=1:20  
(A-A)



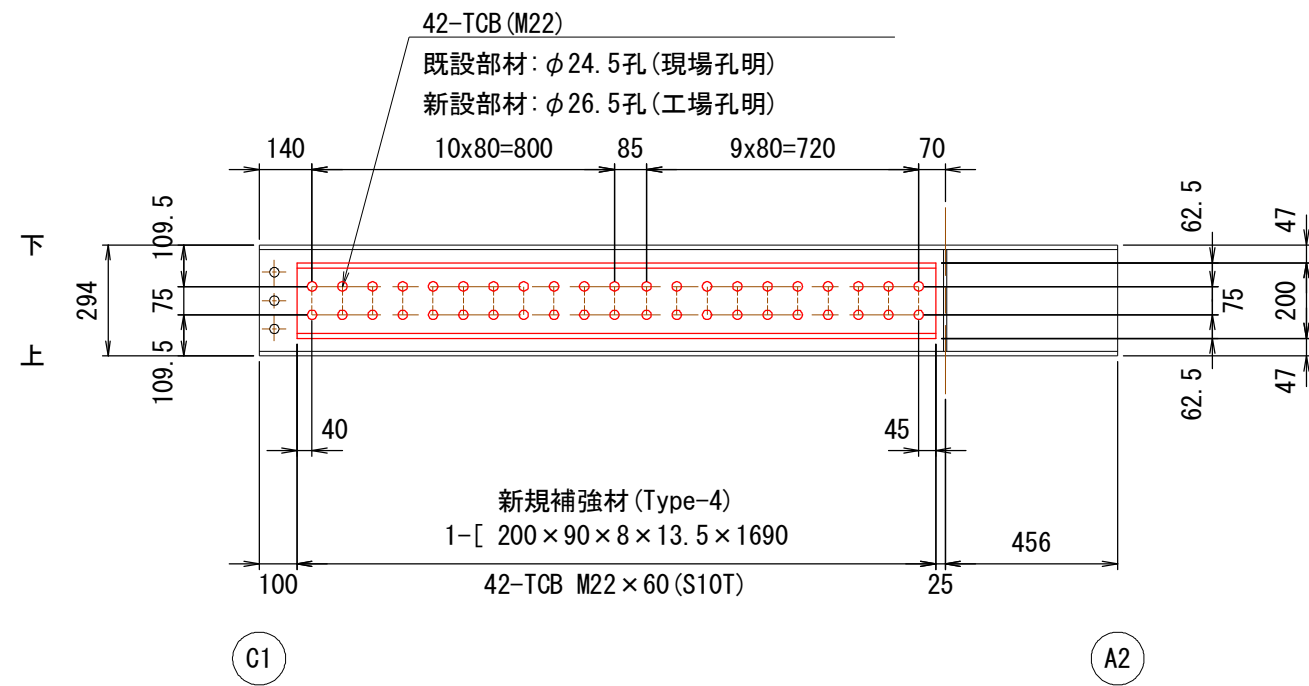
※「G2上流側側面」は「G1下流側側面(A-A)」同様である。

G1上流側側面図 S=1:20  
(B-B)



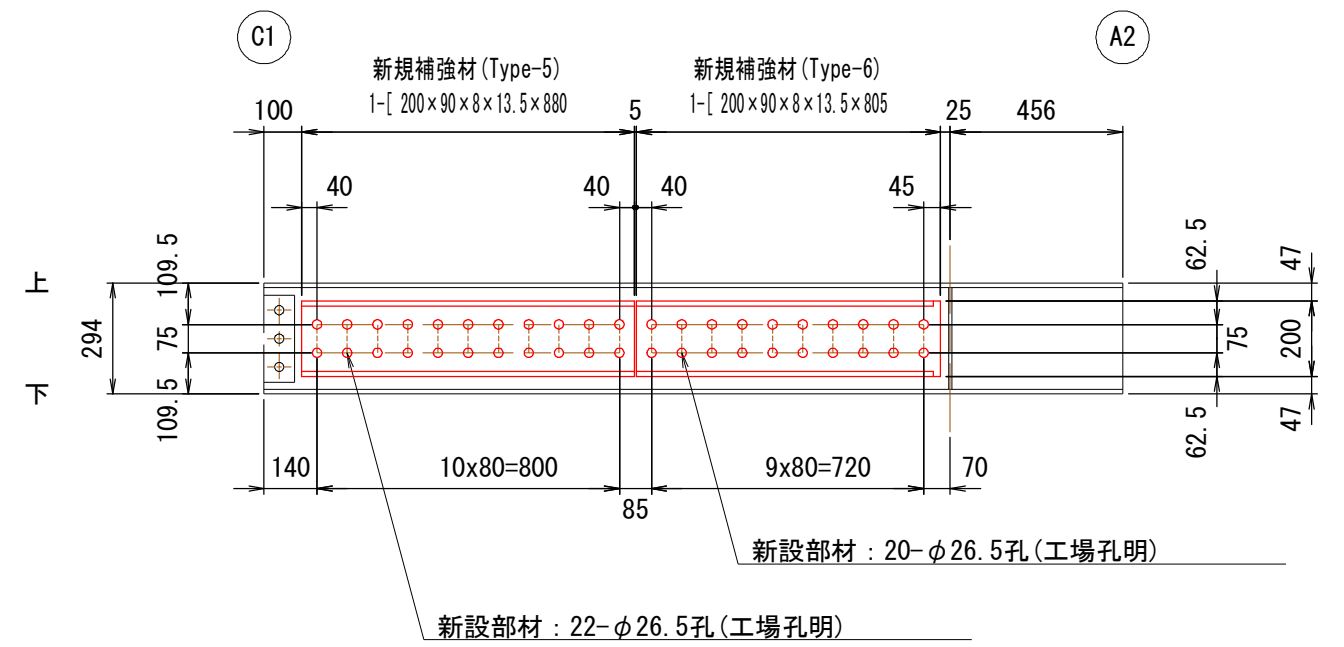
※「G2下流側側面」は「G1上流側側面(B-B)」同様である。

ST1下流側側面図 S=1:20  
(C-C)



※「ST2上流側側面」は「ST1下流側側面(C-C)」同様である。

ST1上流側側面図 S=1:20  
(D-D)



※「ST2下流側側面」は「ST1上流側側面(D-D)」同様である。

- 注記) 1. 新規補強材の材質は“SM490YA”とする。  
2. 鋼材の加工寸法等は、現地再測結果を基に決定すること。  
3. 高力ボルト摩擦接合部材の接触面は事前に素地調整を実施し、摩擦係数0.4以上を確保すること。  
なお、素地調整程度は“2種”以上とし、その範囲は設置部材外縁+20mm程度とする。  
4. 新規補強材設置前、主桁ウェブ減厚部分に“エポキシ樹脂系パテ材(γ=1.7)”を充填すること。  
充填対象範囲は新規補強材主桁ウェブ接触面全面とするが、実際の充填は減厚部分のみとし、使用量は平均厚にて管理すること。  
5. 新規補強材は塗装仕様とし、工場塗装までは「F-11」、現場塗装は鋼桁塗替え塗装仕様に準ずる。

路線名: 市道南無谷38号線  
委託箇所: 南房総市富浦町南無谷地先  
事業年度:

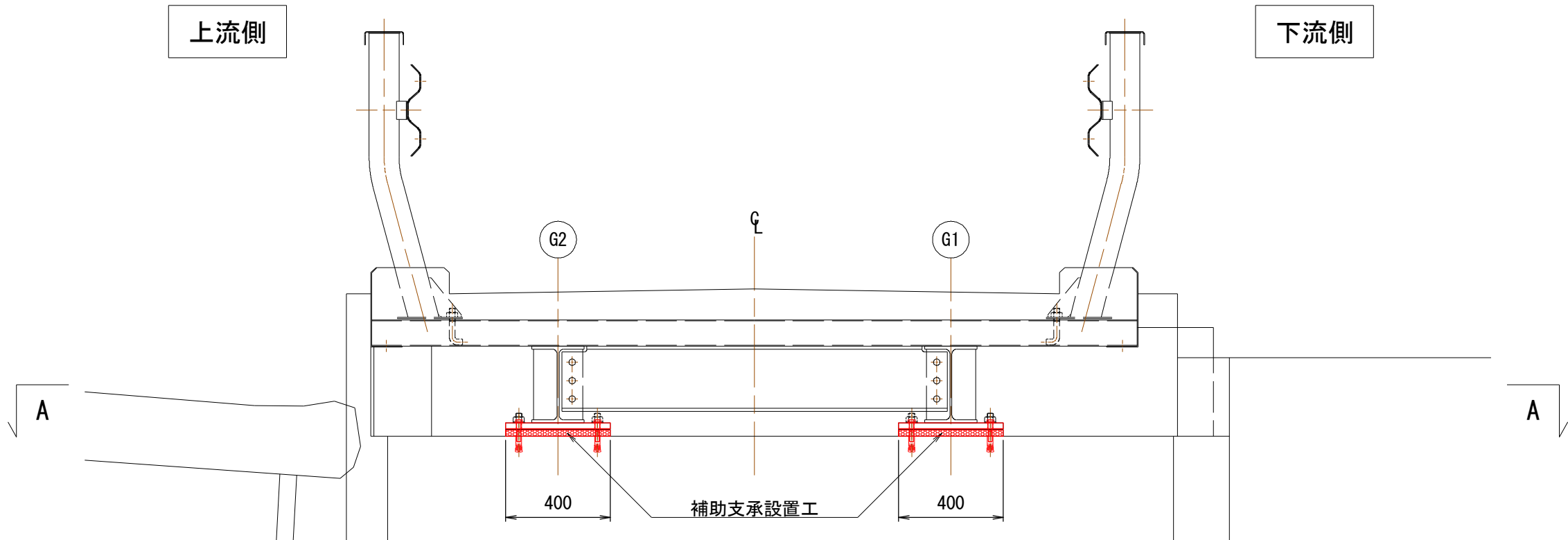
|       |                           |      |        |
|-------|---------------------------|------|--------|
| 工事名   | 橋梁補修設計業務委託(その2)(道路メンテナンス) |      |        |
| 図面名   | 上新田橋 補修図(その5)             |      |        |
| 作成年月日 | 令和 5年 1月                  |      |        |
| 縮尺    | 図示                        | 図面番号 | 8 / 12 |
| 会社名   | 和合建設コンサルタント株式会社           |      |        |
| 事業者名  | 南房総市                      |      |        |

# 上新田橋 補修図(その6)

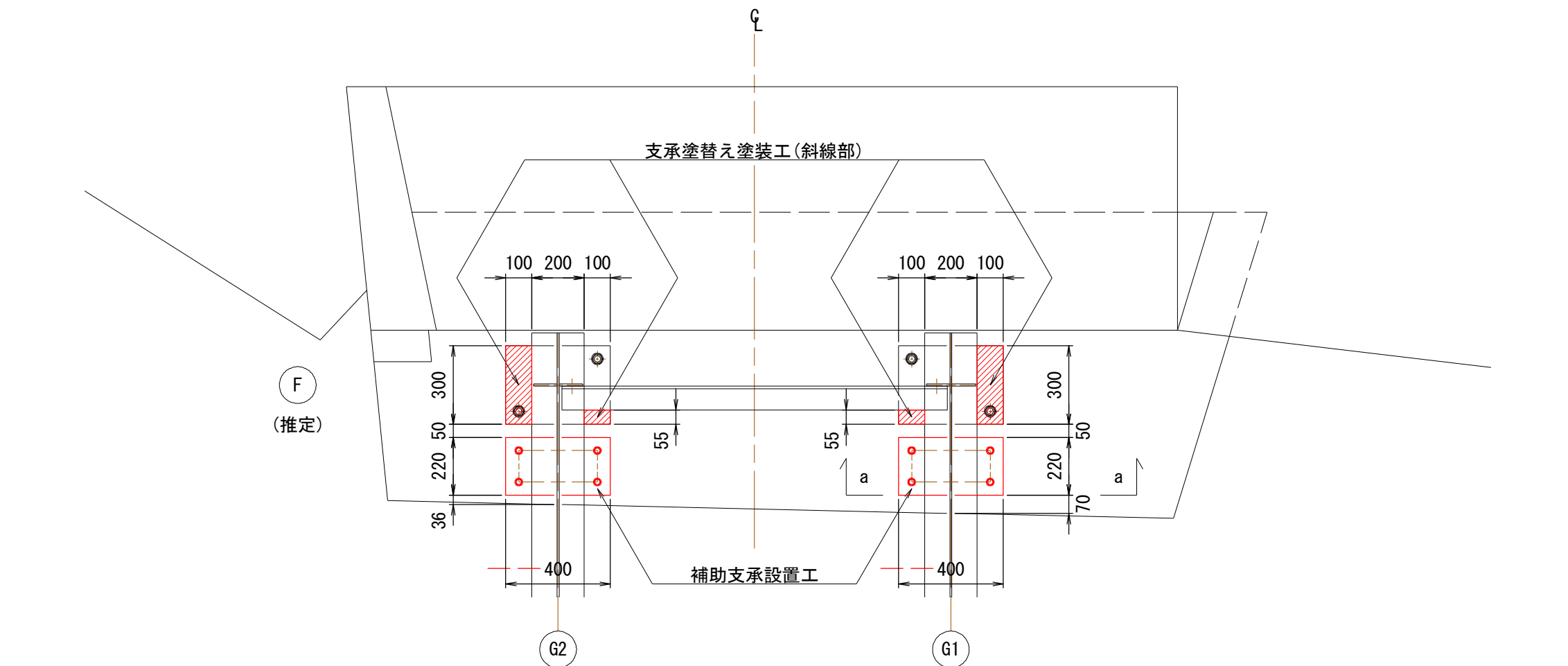
## 補助支承設置工・支承塗替え塗装工

A1橋台 S=1:20  
( 支承 )

正 面 図

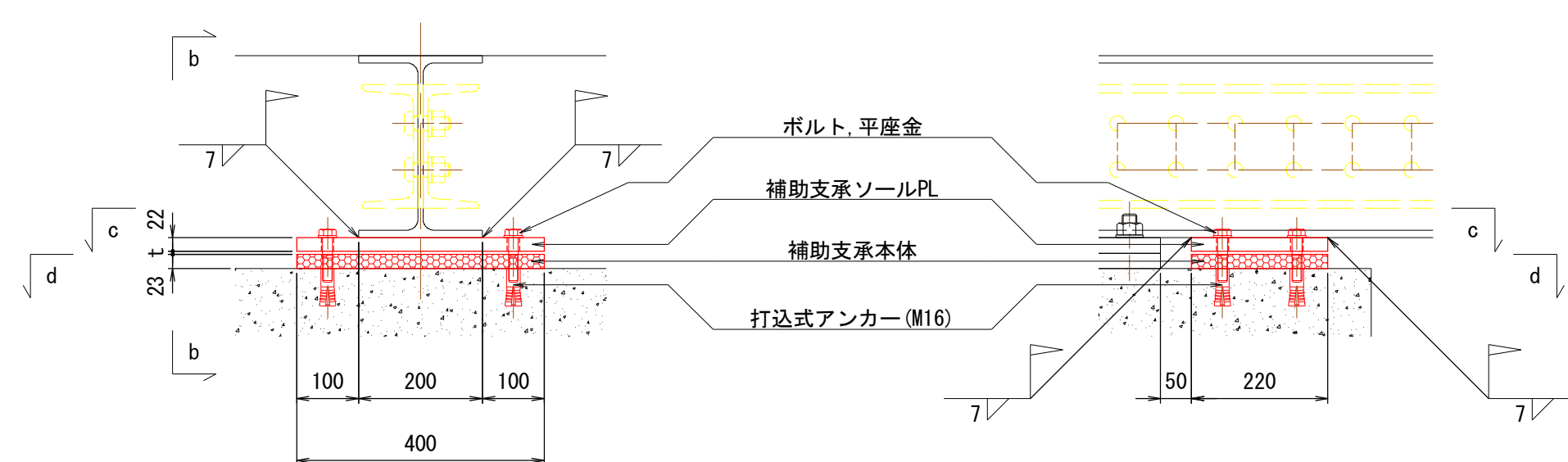


平 面 図  
( A - A )

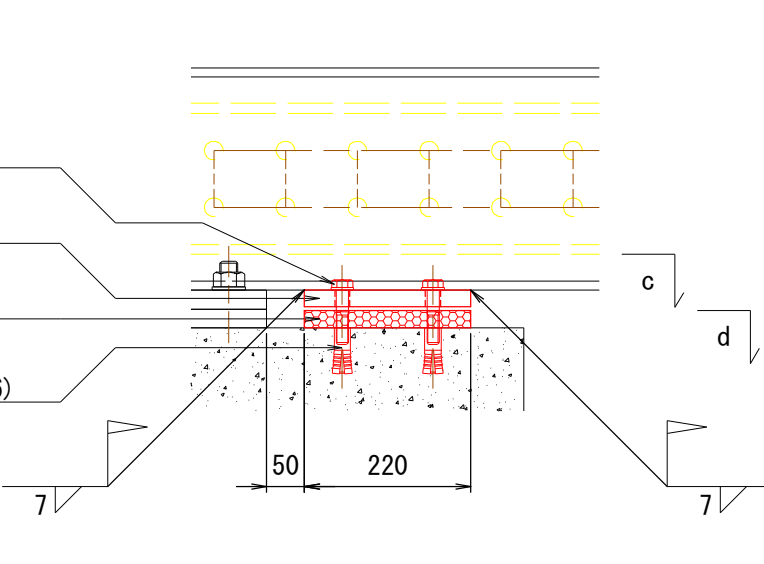


補助支承部詳細 S=1:10  
(代表：A1-G1)

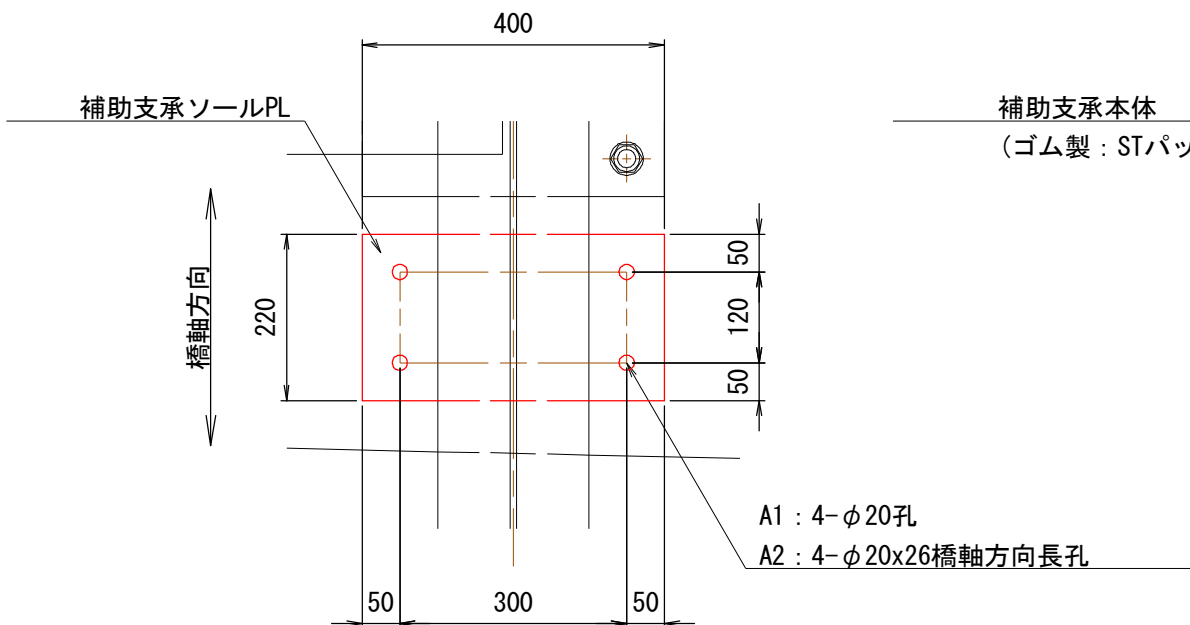
正面図 ( a - a )



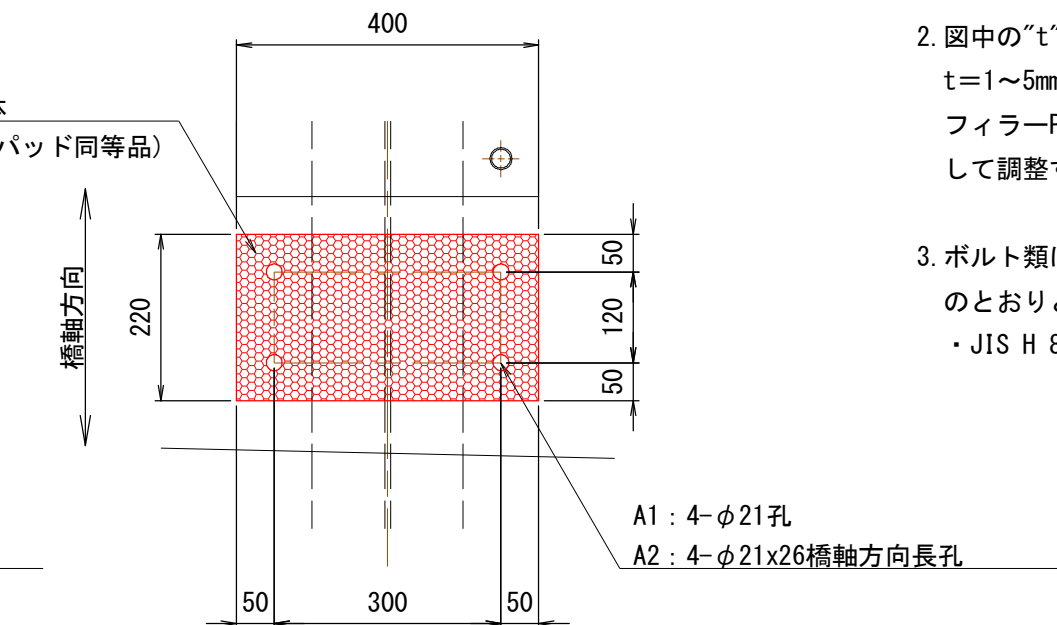
側面図 ( b - b )



平面図 ( c - c )



平面図 ( d - d )



<補助支承：1基当たり(製作数=4)>

- 1-補助支承本体 220×23×400 (CR+ネオプラス)
- 1-Sole PL 220×22×400 (SM400A)
- 4-Bolt M16×75 (強度区分4.6)
- 4-P. Washer M16用 (強度区分4.6)
- 4-打込式Anc. M16×60 (SS400相当品)

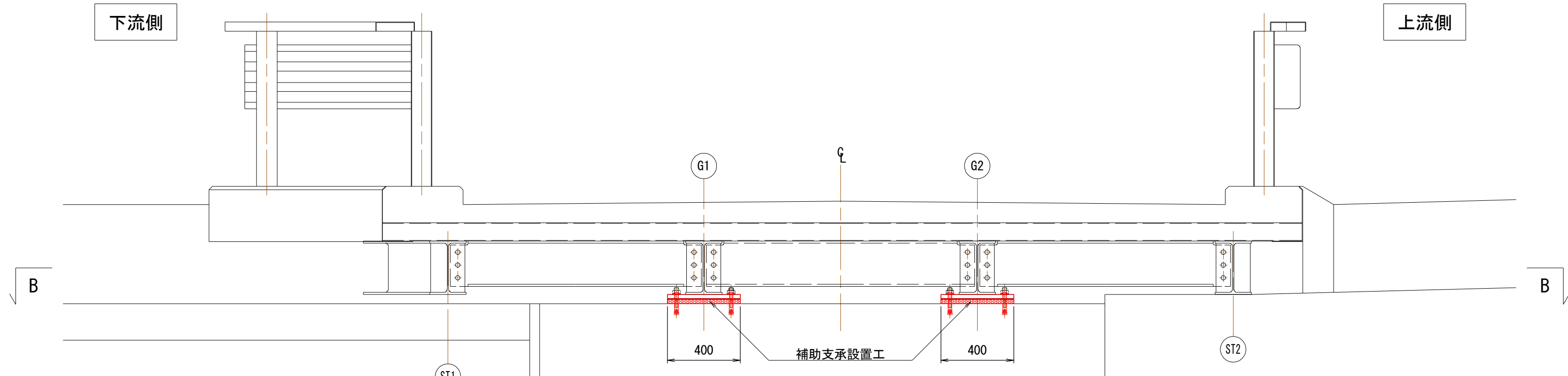
- ※ 1. 補助支承の設置手順は以下のとおりとする。
  - 1) 主桁下フランジ素地調整
  - 2) 打込式アンカー設置
  - 3) ソールPL現場溶接
  - 4) ソールPL現場塗装 (鋼桁塗替え塗装工による)
  - 5) 補助支承本体設置
  - 6) ボルト設置

- 2. 図中の“t”はソールPLと本体の隙間を示す。  
t=1~5mmを想定しているが、それ以上となる場合は  
フィラーPLの挿入や橋座をモルタルで嵩上げするなど  
して調整すること。
- 3. ボルト類は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は以下  
のとおりとする。
  - ・JIS H 8641 2種 HDZ35

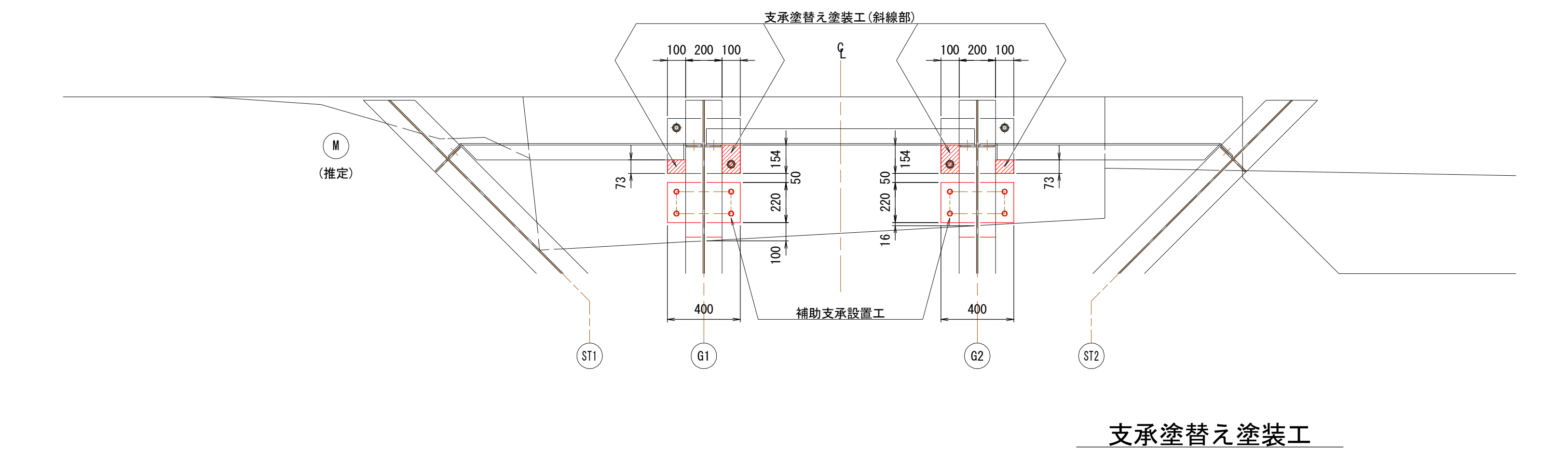
- 注記) 1. 施工前、現地詳細調査を実施し、施工寸法および数量を確定すること。
- 2. 支承塗替え塗装工について、既設支承素地調整後に全面水洗いを行い、付着塩分量が50mg/m2以下となっていることを確認した上で塗装を行うこと。
- 3. 支承塗替え塗装工について、塗装範囲は各橋台の平面図に示された斜線部平面とその側面 (幅50mm想定) および主桁下部の側面 (幅50mm想定) とする。
- 4. 既設支承の支点条件は推定である。補助支承は既設支承の推定支点条件に合わせて設定している。
- 5. 補助支承のソールPLについては、主桁溶接後、補助支承本体設置前に鋼桁塗替え塗装工による先行塗装をしておくこと。

A2橋台 S=1:20  
( 支承 )

正 面 図



平 面 図  
( B - B )



## 支承塗替え塗装工

既設支承：塗替え塗装仕様 (Rc-I 塗装系、スプレー)

| 塗装工程 | 塗料名               | 使用量<br>(g/m2) | 塗装間隔   |
|------|-------------------|---------------|--------|
| 素地調整 | 1種 (ISO Sa 2 1/2) |               | 4時間以内  |
| 防食下地 | 有機ジnkリッチペイント      | 600           | 1日~10日 |
| 下塗   | 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗  | 240           | 1日~10日 |
| 下塗   | 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗  | 240           | 1日~10日 |
| 中塗   | 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗    | 170           | 1日~10日 |
| 上塗   | 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗     | 140           | 1日~10日 |

- ※ 1. 本仕様は、「既設支承」の塗替え塗装仕様として適用する。
- 2. 本仕様は原則スプレー塗装とするが、発注者との協議の上で、はけ・ローラー  
一塗装に変更もできる。

| 数量表 (1橋梁当たり)      |      |                   |    |     |
|-------------------|------|-------------------|----|-----|
| 工 種               | 項 目  | 規格・寸法             | 単位 | 数 量 |
| 支 承<br>塗替え<br>塗装工 | 施工面積 | —                 | m2 | 0.3 |
|                   | 素地調整 | 1種 (ISO Sa 2 1/2) | m2 | 0.3 |
|                   | 現場塗装 | Rc-I 塗装系、下塗~上塗    | m2 | 0.3 |
|                   |      |                   |    |     |

路 線 名： 市道南無谷38号線  
委託箇所： 南房総市富浦町南無谷地先  
事業年度：

|       |                           |      |        |
|-------|---------------------------|------|--------|
| 工事名   | 橋梁修繕設計業務委託(その2)(道路メンテナンス) |      |        |
| 図面名   | 上新田橋 補修図(その6)             |      |        |
| 作成年月日 | 令和 5年 1月                  |      |        |
| 縮尺    | 図 示                       | 図面番号 | 9 / 12 |
| 会社名   | 和合建設コンサルタント株式会社           |      |        |
| 事業者名  | 南 房 総 市                   |      |        |



上新田橋 補修図(その8)

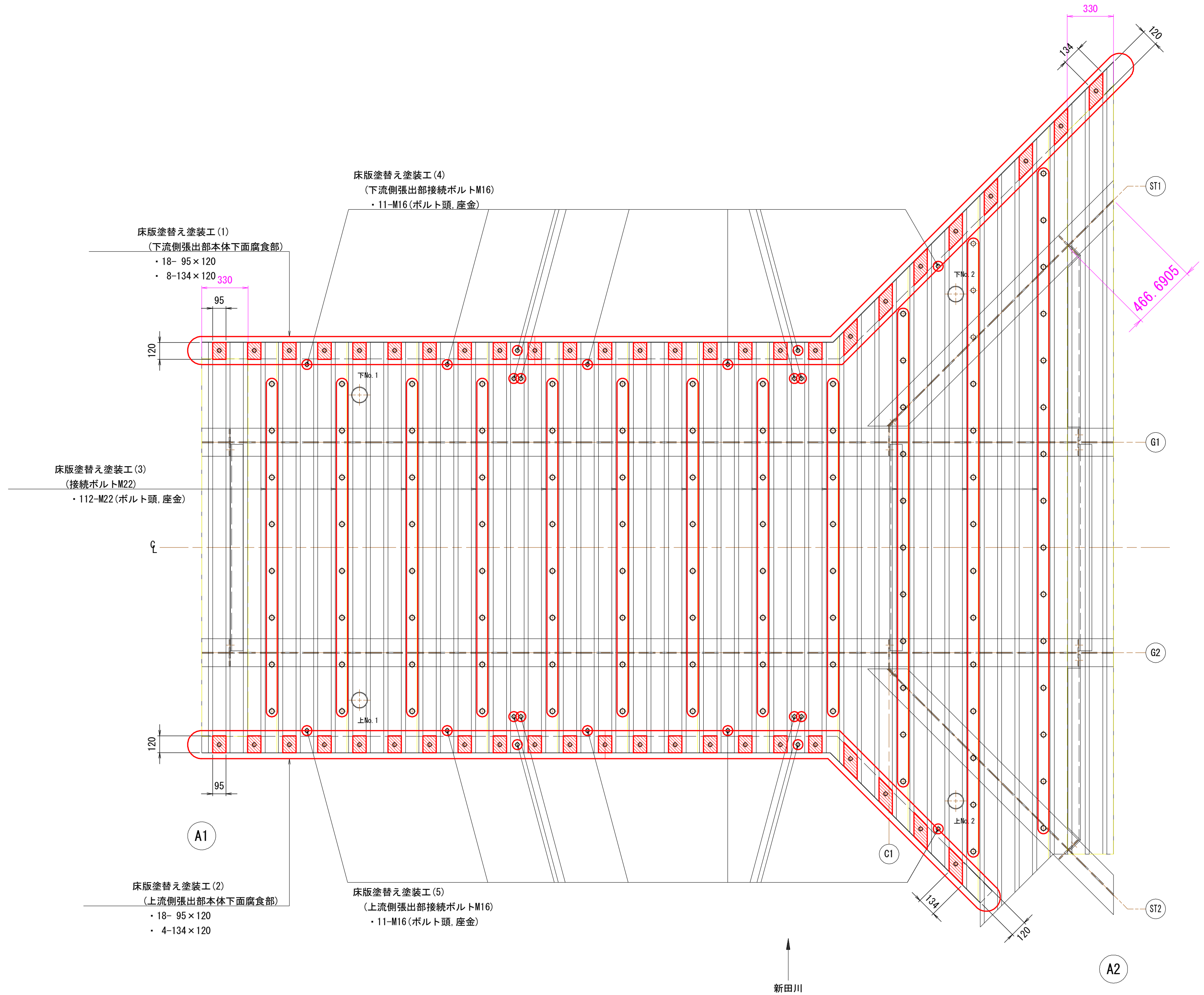
床版塗替え塗装工

橋 下 面 S=1:20  
( 床 版 )

平面見下げ図

南側(左岸)

北側(右岸)



床版塗替え塗装工

塗替え塗装仕様(参考)

常温亜鉛めっき(はけ塗装)

| 塗装工程 | 塗料名                    | 使用量<br>(g/m2) | 目標膜厚<br>(μm) | 塗装間隔<br>(20℃時) |
|------|------------------------|---------------|--------------|----------------|
| 素地調整 | 2種(手工具・動力工具処理 ISO St3) |               |              | 4時間以内          |
| 第1層  | 常温亜鉛めっき(ローパル)          | 300           | 40           |                |
| 第2層  | 常温亜鉛めっき(ローパル)          | 300           | 40           | 30分以上          |

- ※ 1. 本仕様は「床版張出部本体下面腐食部」および「各種接続ボルト」の塗替え塗装仕様として適用する。  
2. 使用量は、はけ塗装による実塗布量を示し、20%のロス分を含む。  
3. 目標膜厚は塗膜硬化乾燥時のものである。  
4. 塗装間隔は目安である。環境や施工条件により変化する。  
5. 本仕様は参考である。実施の際は本仕様同等品を採用すること。

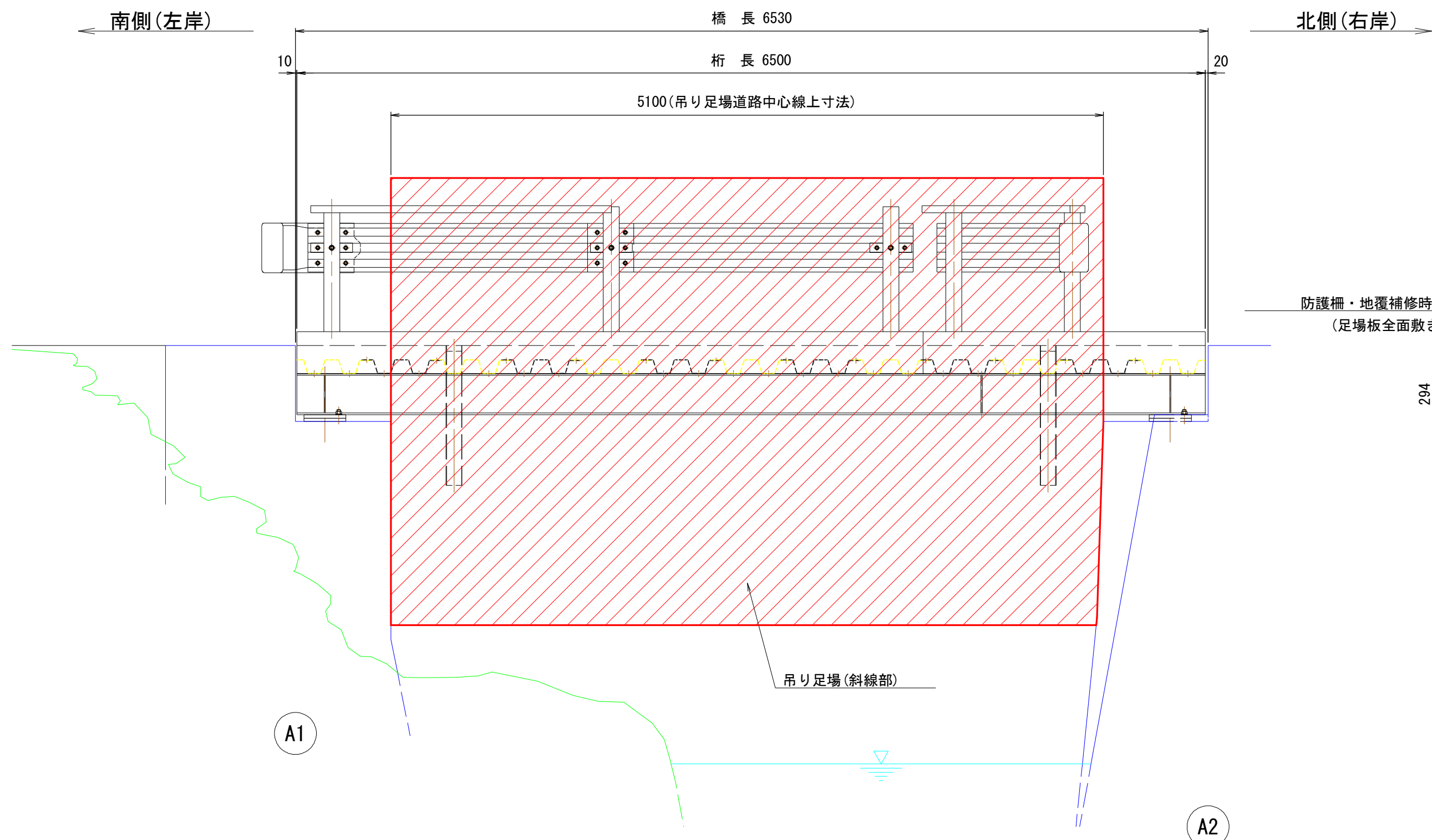
注記) 1. 施工前、現地詳細調査を実施し、  
施工寸法および数量を確定すること。

路 線 名 : 市道南無谷38号線  
委託箇所 : 南房総市富浦町南無谷地先  
事業年度 :

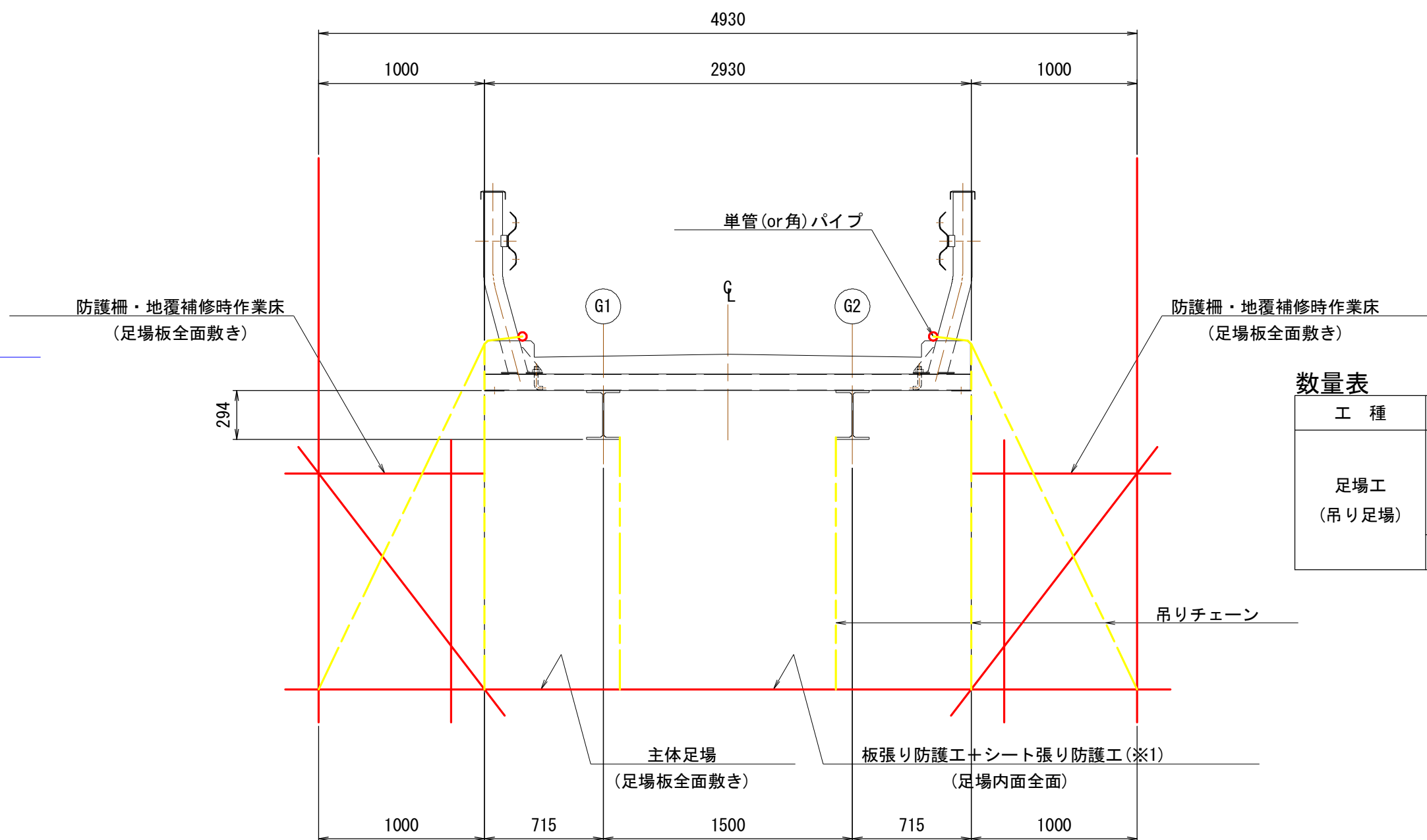
|       |                           |      |         |
|-------|---------------------------|------|---------|
| 工事名   | 橋梁修繕設計業務委託(その2)(道路メンテナンス) |      |         |
| 図面名   | 上新田橋 補修図(その8)             |      |         |
| 作成年月日 | 令和 5年 1月                  |      |         |
| 縮尺    | 図 示                       | 図面番号 | 11 / 12 |
| 会社名   | 和合建設コンサルタント株式会社           |      |         |
| 事業者名  | 南 房 総 市                   |      |         |

上新田橋 足場架設計画図

側面図 S=1:30



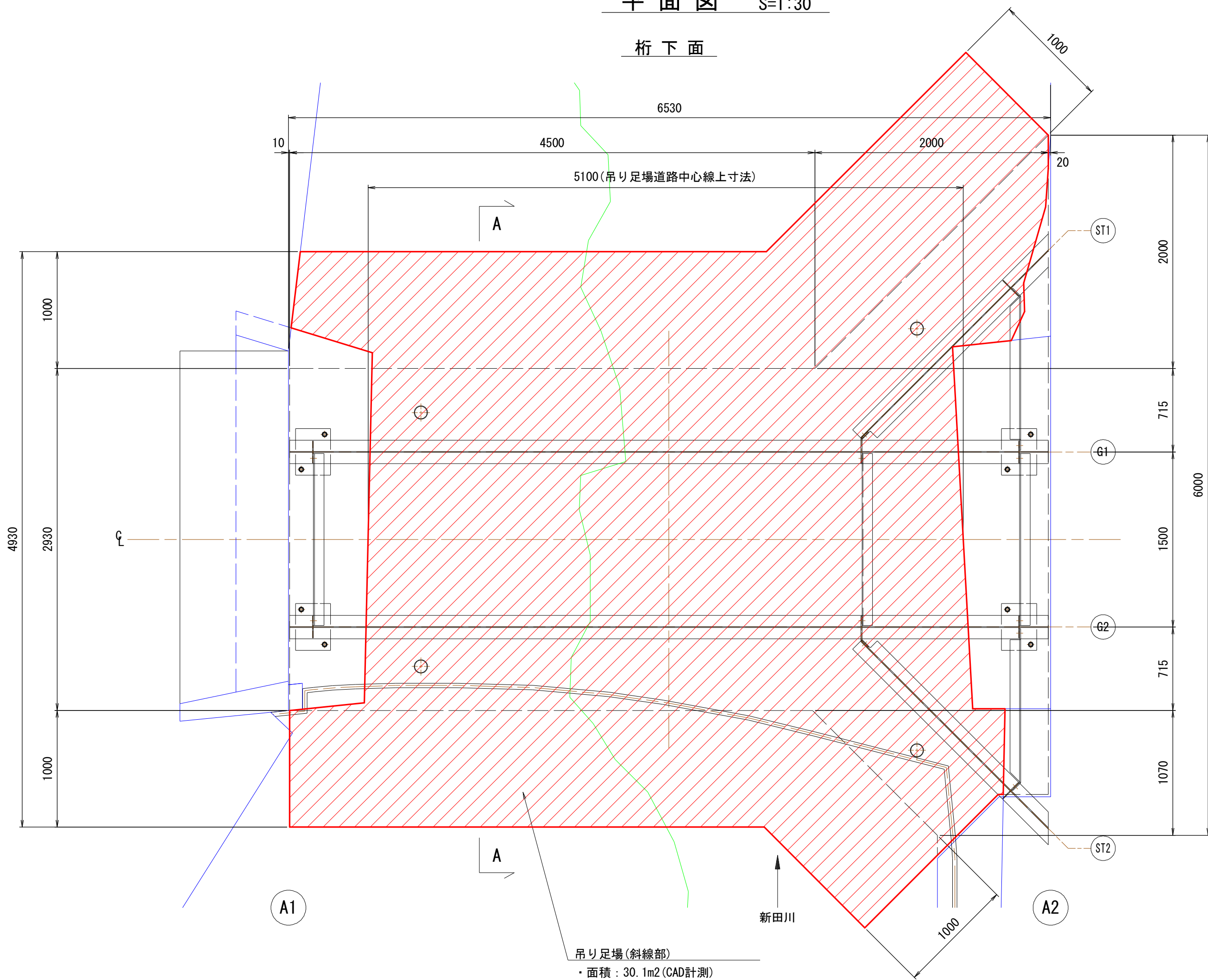
標準部横断面図 S=1:30 (A-A)



| 数量表 (1橋梁当たり)  |        |   |     |      |
|---------------|--------|---|-----|------|
| 工 種           | 細 目    | 規 格 等                                   | 単 位 | 数 量  |
| 足場工<br>(吊り足場) | 吊り足場面積 | 積算区分：床版補強工用足場<br>桁高区分：H<1.5m<br>朝顔：両側設置 | m2  | 30.1 |
|               | 防護工面積  | 防護種類：板張+シート張                            | m2  | 30.1 |

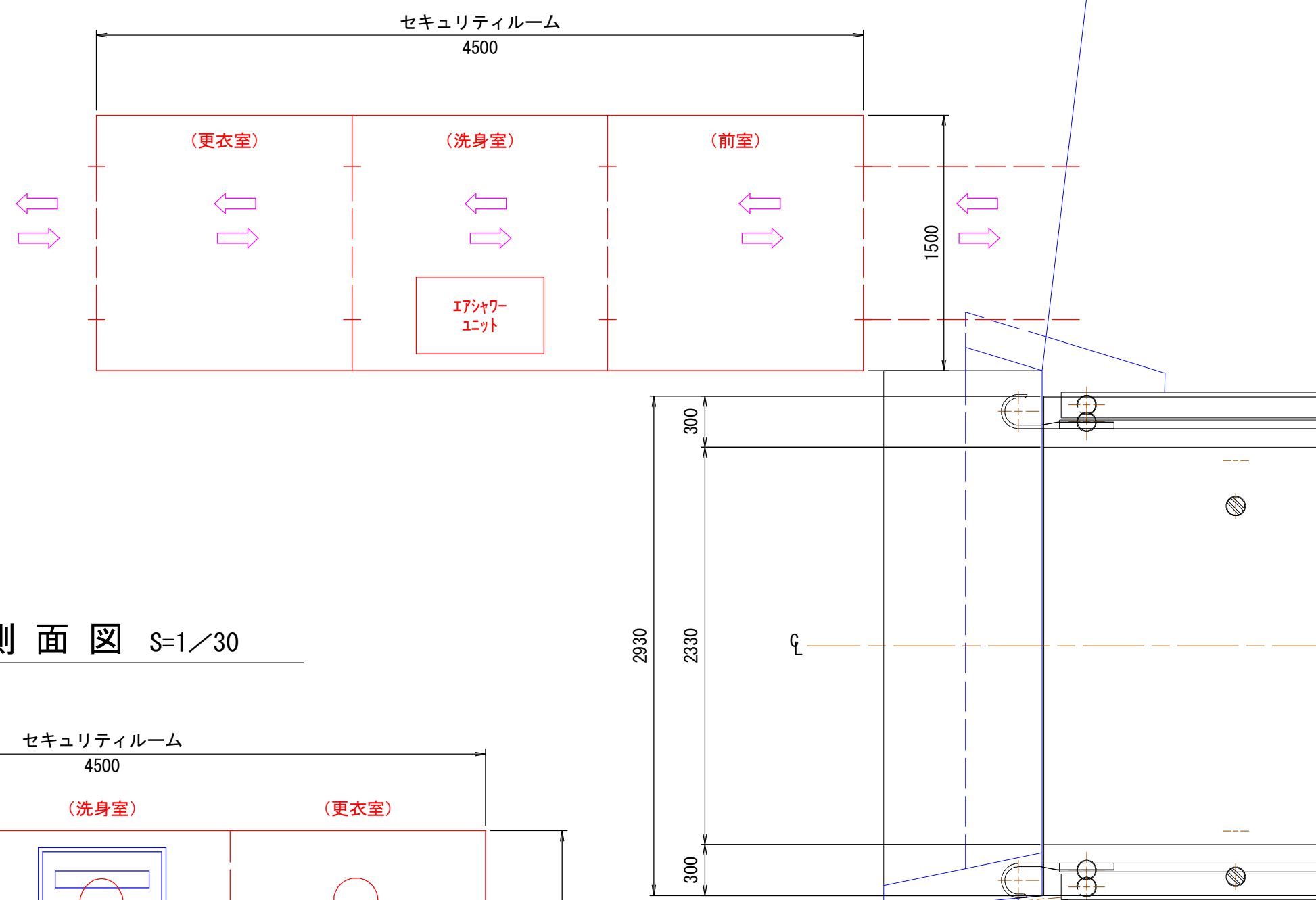
※1 シート張り防護工に使用するシートは「防災シート+プラスチック養生シート」を適用する。

平面図 S=1:30

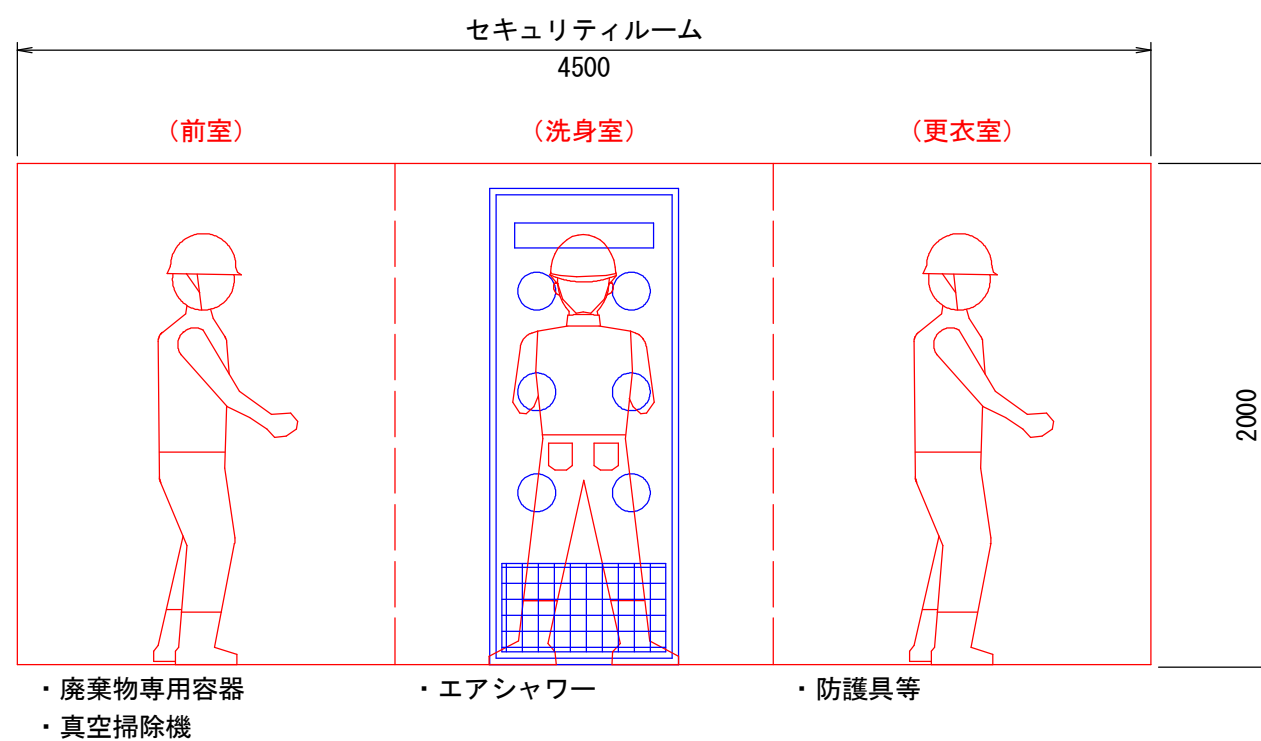


【セキュリティルーム配置図（塗替塗装作業時）】

平面図 S=1:30



側面図 S=1/30



路 線 名：市道南無谷38号線  
委託箇所：南房総市富浦町南無谷地先  
事業年度：

|       |                           |      |         |
|-------|---------------------------|------|---------|
| 工事名   | 橋梁修繕設計業務委託(その2)(道路メンテナンス) |      |         |
| 図面名   | 上新田橋 足場架設計画図              |      |         |
| 作成年月日 | 令和 5年 1月                  |      |         |
| 縮尺    | 図 示                       | 図面番号 | 12 / 12 |
| 会社名   | 和合建設コンサルタント株式会社           |      |         |
| 事業者名  | 南 房 総 市                   |      |         |

注記) 1. 足場架設の際、構造および寸法等再度検討を行うこと。